

世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ
組成分析調査及び計量調査報告書
(令和4年度版)

令和4年8月

世 田 谷 区

目次

第1部 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査報告書	- 1 -
第1章 調査目的と概要	- 3 -
1 調査目的	- 3 -
2 家庭ごみ組成分析調査概要	- 3 -
(1) 調査対象	- 3 -
(2) 調査期間	- 5 -
(3) 調査方法	- 5 -
(4) 分類	- 5 -
(5) 留意事項	- 7 -
3 家庭ごみ計量調査概要	- 8 -
(1) 調査方法	- 8 -
(2) 調査対象地区と日程	- 8 -
(3) 調査対象世帯数	- 9 -
第2章 家庭ごみ組成分析調査結果	- 10 -
1 全体	- 10 -
(1) 可燃ごみ	- 10 -
(2) 不燃ごみ	- 12 -
2 住居形態別	- 14 -
(1) 可燃ごみ	- 14 -
(2) 不燃ごみ	- 15 -
3 過去の調査結果との比較	- 16 -
(1) 可燃ごみ	- 16 -
(2) 不燃ごみ	- 18 -
4 その他調査結果	- 20 -
(1) 可燃ごみの食品ロス	- 20 -
(2) プラスチック	- 21 -
(3) 小型家電	- 22 -
(4) 排出禁止物等の個数	- 24 -
(5) 外袋の形状別の個数及び割合	- 25 -
(6) ごみ袋1袋あたりの重量	- 26 -
第3章 家庭ごみ計量調査結果	- 27 -
(1) 可燃ごみの排出原単位	- 27 -

第2部 事業系ごみ組成分析調査報告書	- 29 -
第1章 調査目的と概要	- 31 -
1 調査目的	- 31 -
2 調査概要	- 31 -
(1) 調査対象	- 31 -
(2) 調査期間	- 32 -
(3) 調査方法	- 32 -
(4) 分類	- 33 -
(5) 留意事項	- 35 -
第2章 事業系可燃ごみ組成分析調査結果	- 36 -
1 全体	- 36 -
2 属性別調査結果	- 38 -
(1) 調査対象地区別	- 38 -
(2) 業種別	- 40 -
3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況	- 43 -
(1) 貼付状況	- 43 -
(2) 容積貼付率	- 44 -
(3) 45リットルあたりの重量	- 45 -
4 その他調査結果	- 46 -
(1) 食品ロス	- 46 -
(2) プラスチック	- 47 -
(3) 排出禁止物等の個数	- 48 -
第3部 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量推計	- 49 -
1 排出原単位の推計	- 51 -
(1) 世帯人数等別人口推計	- 51 -
(2) 排出原単位の推計	- 52 -
2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計	- 53 -
(1) 世田谷区の区収集ごみ量	- 53 -
(2) 不燃ごみ	- 53 -
(3) 家庭可燃ごみ量の推計(補正前)	- 53 -
(4) 事業系可燃ごみ量の推計(補正前)	- 54 -
(5) 実績値による補正	- 54 -
3 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量の推計	- 55 -
(1) 家庭可燃ごみ	- 55 -
(2) 事業系可燃ごみ	- 56 -
(3) 不燃ごみ	- 57 -
(4) 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量	- 58 -

第 1 部 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査報告書

第1章 調査目的と概要

1 調査目的

本調査は、①家庭から排出されるごみの組成と分別状況、②1人1日あたりの可燃ごみ量（以下「排出原単位」という）を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

2 家庭ごみ組成分析調査概要

(1)調査対象

本調査は、家庭ごみを対象とすることから、事業系ごみが可能な限り混入しないような集積所を選定したうえで、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや明らかに事業系ごみと判断されるものは調査対象から除外して実施した。

調査対象とした集積所を表1.2-1に示す。区内8調査地区から、住居形態（一戸建て、アパート等混在、マンション）ごとに集積所を抽出し、可燃ごみ及び不燃ごみを調査した。

調査実施に伴い収集したサンプルの重量は、可燃ごみが1,536.90kg、不燃ごみが880.04kgである。

表 1.2-1 調査対象

分別区分	地区	単位：kg			
		一戸建て	アパート等混在	マンション	全体
可燃ごみ	下馬6丁目	59.11	47.18	81.95	188.24
	池尻2丁目	56.01	20.42	94.65	171.08
	松原1丁目	32.78	29.59	116.28	178.65
	駒沢4丁目	116.55	73.78	57.23	247.56
	新町1丁目	65.32	85.84	75.14	226.30
	船橋2・4丁目	64.65	53.76	50.78	169.19
	千歳台2・3丁目	73.81	42.40	64.95	181.16
	八幡山3丁目	65.18	56.68	52.86	174.72
	全体	533.41	409.65	593.84	1,536.90
不燃ごみ	下馬6丁目	19.40	5.98	35.94	61.32
	池尻2丁目	26.70	8.52	24.46	59.68
	松原1丁目	8.15	13.65	39.72	61.52
	駒沢4丁目	37.01	15.51	48.66	101.18
	新町1丁目	25.53	16.78	14.69	57.00
	船橋2・4丁目	47.12	56.05	84.43	187.60
	千歳台2・3丁目	60.53	58.76	60.28	179.57
	八幡山3丁目	84.80	41.06	46.31	172.17
	全体	309.24	216.31	354.49	880.04

世田谷区全図

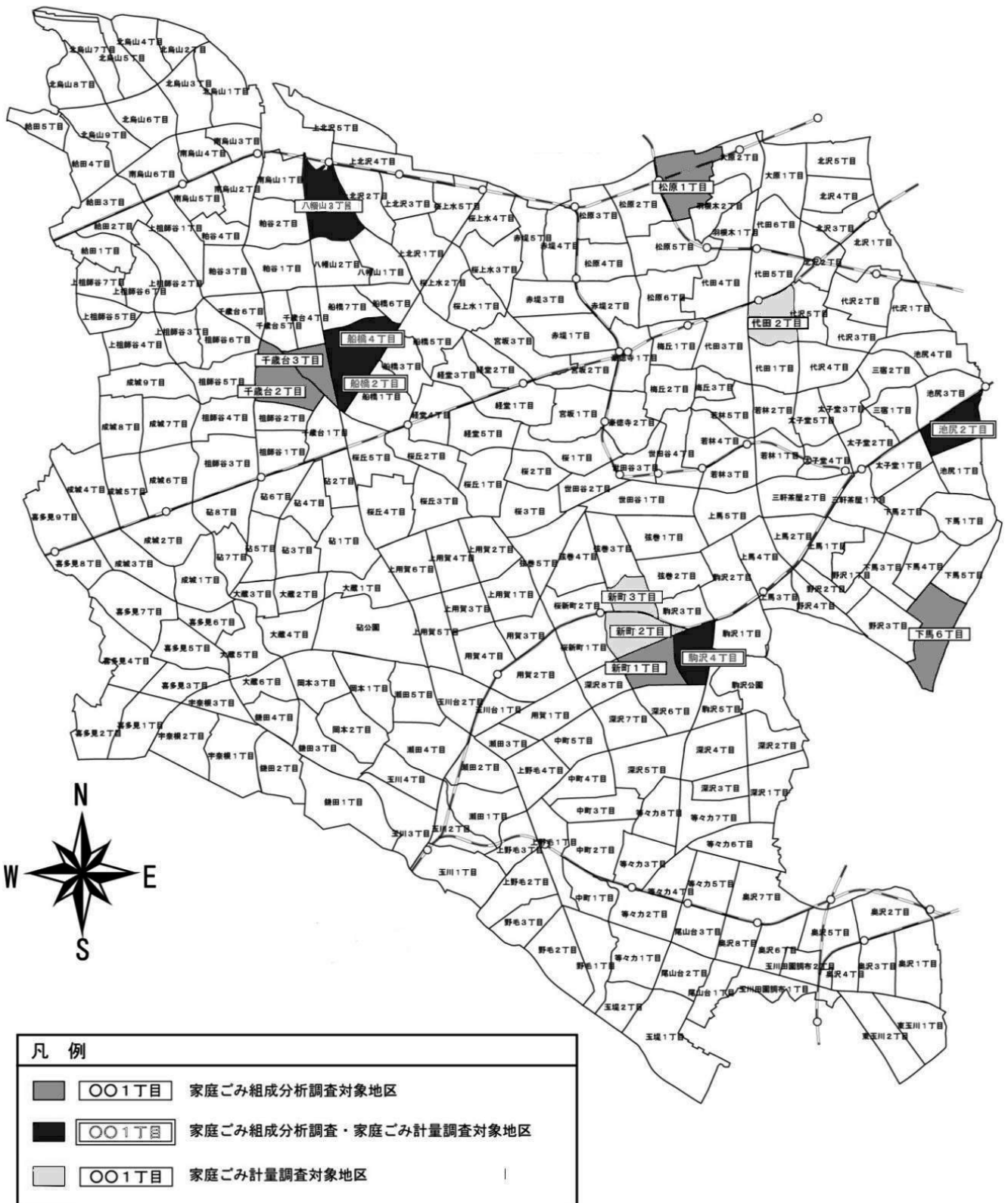


図 1.2-1 調査対象地区

(2)調査期間

調査期間を表 1.2-2 に示す。

表 1.2-2 調査期間

日程	可燃ごみ	不燃ごみ
5月9日(月)	下馬6丁目	千歳台2・3丁目
5月10日(火)	駒沢4丁目	池尻2丁目
5月11日(水)	船橋2・4丁目	駒沢4丁目
		新町1丁目
5月12日(木)	八幡山3丁目	松原1丁目
5月13日(金)	松原1丁目	—
5月16日(月)	池尻2丁目	船橋2・4丁目
5月17日(火)	新町1丁目	下馬6丁目
		八幡山3丁目
5月18日(水)	千歳台2・3丁目	—

(3)調査方法

調査対象集積所から可燃ごみ・不燃ごみをサンプルとして収集し、袋の形状と重さ、品目ごとの重量等を測定した。なお、分析は湿ベース（ごみが水分を含んだ状態での重量）で行った。

(4)分類

分類を表 1.2-3 に示す。大分類 6 種類、中分類 25 種類、小分類 80 種類とした。

令和 3 年度は、使い捨てのスプーンやストローなどを「シングルユースプラスチック」として分類したが、令和 4 年 4 月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（以下、「プラスチック資源循環促進法」という。）が施行されたため、本年度調査では、「特定プラスチック使用製品」として、テイクアウト用のカトラリー、クリーニング店の衣類用ハンガー及び衣類用カバーを分類した。

大分類の可燃系資源と不燃系資源は、世田谷区の資源分別回収、集団回収、拠点回収により現在資源化するルートがある品目である。蛍光管、小型家電（拠点回収対象外）等一部の不燃ごみについては、資源化ルートがあるが、分別回収ではなく収集後に区が選別作業を行っているため、不燃系資源には含めない。

表 1.2-3(1) 分類表その1

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃系資源	紙類	新聞（きれいなもの）	読んだだけでごみに出されたもの
		折込広告	新聞の折込広告
		雑誌・本	
		段ボール	
		紙パック	内側が白く、500ミリ以上で「紙パック」マークがついたもの
		包装紙	紙だけでできているもので区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの
		紙袋	
		箱類	
		OA用紙	
	その他紙類（リサイクル可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの	
	布類	衣類、布製テーブルクロス、ハンカチ、タオル	
	ペットボトル	飲料や調味料のペットボトルで「PET」マークがついたもの	
	プラスチック	ペットボトルキャップ	キャップが単体で排出されたもの
		白色発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色のもの
色・柄付き発泡トレイ		鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色以外のもの	
食品用透明プラスチック容器		生鮮食品・加工食品が入っていた無色透明なプラスチック製の容器	
不燃系資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	ペットフード含む
		スチール缶（飲食用）	ペットフード含む
	びん類	リターナブルびん	一升びん、ビールびんなどの繰り返し使えるびん
		ワンウェイびん（無色）	飲料水、調味料、びん詰、栄養ドリンクなどの飲料用のびん
		ワンウェイびん（茶色）	
		ワンウェイびん（その他）	
小型家電（拠点回収対象）	携帯電話、デジタルカメラ、ACアダプター、コードなどの拠点回収対象品目		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	利用されずにそのまま捨てられた食品
		食べ残し	
		調理くず	
	紙類	新聞（汚れたもの）	読む以外の用途に使用したもの、汚れのあるもの
		紙パック（アルミ付）	内側が銀色の紙パック
		容器包装紙類（リサイクル不可）	四角い紙パック、ビニールコートなどの加工紙、においや汚れの付いているもの
		シュレッド紙	
		その他紙類（リサイクル不可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せないもの（写真、感熱紙、カーボン紙）
	木・草類	庭木・落ち葉・草、生花	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	シャンプーや洗剤などのボトル
		洗剤等詰め替え容器	シャンプーや洗剤などの詰め替え用のパウチ
		レジ袋	
		発泡スチロール	
		カップ・パック	弁当ガラ、果物・たまごなどのパック、乳酸飲料、ヨーグルト、プリンなどのカップ、豆腐容器
		フィルム	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装
		アルミ蒸着	スナック菓子の袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装など銀色のもの
		チューブ	マヨネーズ、歯磨き粉
		その他の容器包装プラスチック	緩衝材、ネット、びんのふた

表 1.2-3(2) 分類表その2

大分類	中分類	小分類	備考(代表的な例)
可燃物	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	飲食店等のカトラリー、クリーニング店のハンガー・衣類用袋
		製品プラスチック(軟質)	フィルム状の食品保存容器、市販の袋
		製品プラスチック(硬質)	歯ブラシ、CD、ケースなどプラスチックだけでできているもの
		製品プラスチック(複合品)	プラスチックの玩具、ボールペンなどプラスチック以外の素材との複合品
	ゴム・皮革類	ゴム類	ゴム手袋、自転車タイヤ・チューブ、輪ゴム
		皮革類	革ジャンパー、皮製ハンドバック、革ベルト
その他可燃物	紙おむつ		
	その他可燃物	ティッシュ、たばこの吸殻、化学ぞうきん、ガムテープ、割り箸、木製品	
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	空のスプレー缶、空のカセットボンベ、塗料の缶、自動車オイルの缶などのアルミ缶
		スチール缶(その他)	空のスプレー缶、塗料の缶、自動車オイルの缶などのスチール缶
		缶類以外の金属類	なべ、フライパン、アルミホイル、刃物、飲食用以外の缶
	乾電池	筒型乾電池	
		コイン型電池	
	ガラス製品		ガラス製品、割れたびん、汚れたびん
	陶磁器		
	小型家電(拠点回収対象外)		拠点回収対象品目以外の品目
	傘		
	蛍光管		
	電球		
その他不燃物			
排出禁止物	二次電池(充電電池)		リチウムイオン電池などの充電式の電池
	その他電池(ボタン電池等)		ボタン型の電池
	水銀体温計		
	水銀血圧計		
	中身の入ったエアゾール缶		
	中身の入ったカセットボンベ		
	中身の入った簡易ガスライター		
	薬品類(農薬・劇薬)		
	注射器・針		
	石油類		
	ペンキ等の塗料		
	バッテリー		
	石		
	土・砂		
ブロック・レンガ			
その他		粗大ごみ	
外袋	プラスチック袋		ごみ袋として使われた透明ごみ袋、半透明ごみ袋
	レジ袋		ごみ袋として使われたレジ袋
	紙袋		ごみ袋として使われた紙袋

(5)留意事項

構成比の合算値は四捨五入の関係上 100%にならないものがある。

3 家庭ごみ計量調査概要

(1)調査方法

可燃ごみの排出原単位を把握するため、調査対象地区の世帯に対して、世帯人数と何日分のごみかを記載するシールを配布した。ごみの排出時間にあわせて調査員を資源・ごみ集積所に配置し、排出されたごみに貼付されたシールの情報を転記し、その場で重量を測定した。

1人世帯の場合は年齢によって排出原単位が異なると考えられるため、30歳未満と30歳以上に分類し、調査を実施した。

各世帯から排出された可燃ごみの重量を、世帯人数と日数（何日分のごみか）で除して、世帯ごとの排出原単位を算定した上で、世帯人数等別のごみの排出原単位を算定した。

なお、不燃ごみは、収集日によって排出量にばらつきが多く、1収集日だけで統計的な数値の根拠とすることは難しいとの判断から、不燃ごみの排出原単位の調査は行わなかった。

(2)調査対象地区と日程

調査対象地区と日程を表1.3-1に示す。調査の精度を高めるため、令和3年度の対象地区である池尻、駒沢、船橋に加えて、代田、新町、八幡山を新たに追加し、6地区で実施した。

表 1.3-1 調査対象地区と日程

日程	調査対象地区
4月20日(水)	船橋
4月21日(木)	池尻
4月22日(金)	駒沢
4月25日(月)	八幡山
4月26日(火)	代田
4月27日(水)	新町

(3)調査対象世帯数

調査対象世帯数を表 1.3-2 に示す。調査対象世帯数は、1,146 世帯である。

表 1.3-2 調査対象世帯数

単位：世帯

	池尻	駒沢	船橋	代田	新町	八幡山	全体
1人世帯・30歳未満	12	6	7	7	4	12	48
1人世帯・30歳以上	46	43	21	35	31	66	242
2人世帯	70	61	51	69	58	76	385
3人世帯	29	42	42	40	54	31	238
4人以上世帯	18	51	48	43	45	28	233
全体	175	203	169	194	192	213	1,146

第2章 家庭ごみ組成分析調査結果

1 全体

(1)可燃ごみ

可燃ごみの組成を図 2.1-1 及び表 2.1-1 に示す。

大分類では、可燃系資源が 21.6%、不燃系資源が 0.1%で、資源が合計 21.7%である。その他、可燃物が 75.7%、外袋が 1.2%、不燃物が 0.8%、排出禁止物が 0.6%の順である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 28.5%、次いで、その他可燃物が 19.9%、容器包装プラスチックが 14.0%などの順である。生ごみの小分類のうち、直接廃棄が 5.3%、食べ残しが 3.3%で、合計 8.6%が食品ロスである。

可燃系資源の中分類では、紙類が最も多く 14.2%、次いで、布類が 6.3%などの順である。紙類の小分類では、その他紙類（リサイクル可）が最も多く 5.1%、次いで、箱類が 3.1%などの順である。

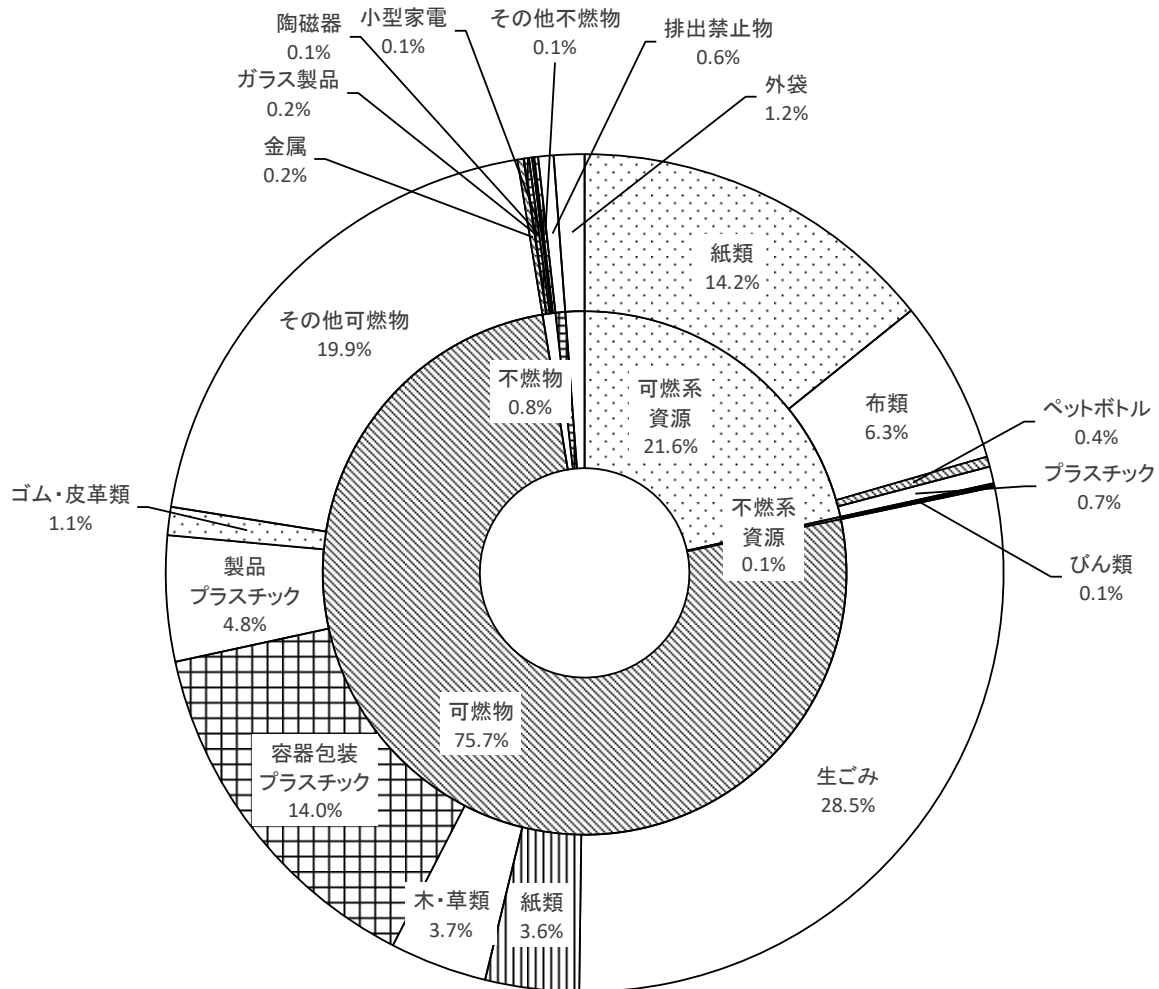


図 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果

表 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	4.59	0.3%	
		折込広告	2.61	0.2%	
		雑誌・本	34.49	2.2%	
		段ボール	12.41	0.8%	
		紙パック	11.84	0.8%	
		包装紙	2.94	0.2%	
		紙袋	12.78	0.8%	
		箱類	47.50	3.1%	
		OA用紙	10.57	0.7%	
		その他紙類(リサイクル可)	78.86	5.1%	
	布類	96.77	6.3%		
	ペットボトル	6.08	0.4%		
	プラスチック	ペットボトルキャップ	2.06	0.1%	
		白色発泡トレイ	2.00	0.1%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	0.17	0.0%	
		スチール缶(飲食用)	0.31	0.0%	
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%	
		ワンウェイびん(無色)	0.68	0.0%	
		ワンウェイびん(茶色)	0.40	0.0%	
	ワンウェイびん(その他)	0.00	0.0%		
	小型家電(拠点回収対象)	0.64	0.0%		
	可燃物	生ごみ	直接廃棄	81.80	5.3%
			食べ残し	50.57	3.3%
			調理くず	305.58	19.9%
		紙類	新聞(汚れたもの)	12.67	0.8%
			紙パック(アルミ付)	6.09	0.4%
			容器包装紙類(リサイクル不可)	18.29	1.2%
			シュレッド紙	2.10	0.1%
その他紙類(リサイクル不可)		16.40	1.1%		
木・草類		57.60	3.7%		
容器包装プラスチック		ペットボトル以外のボトル	23.79	1.5%	
		洗剤等詰め替え容器	4.37	0.3%	
		レジ袋	12.91	0.8%	
		発泡スチロール	0.57	0.0%	
		カップ・パック	70.13	4.6%	
		フィルム	71.94	4.7%	
		アルミ蒸着	19.69	1.3%	
		チューブ	3.13	0.2%	
その他の容器包装プラスチック		9.12	0.6%		
製品プラスチック		特定プラスチック使用製品	2.54	0.2%	
		製品プラスチック(軟質)	41.22	2.7%	
		製品プラスチック(硬質)	21.37	1.4%	
		製品プラスチック(複合品)	9.29	0.6%	
ゴム・皮革類		8.53	0.6%		
皮革類	8.16	0.5%			
その他可燃物	紙おむつ	62.89	4.1%		
その他可燃物	その他可燃物	243.02	15.8%		
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	0.08	0.0%	
		スチール缶(その他)	0.03	0.0%	
		缶類以外の金属類	3.50	0.2%	
	乾電池	筒型乾電池	0.38	0.0%	
		コイン型電池	0.00	0.0%	
	ガラス製品	2.84	0.2%		
	陶磁器	1.77	0.1%		
	小型家電(拠点回収対象外)	1.37	0.1%		
	傘	0.00	0.0%		
	蛍光管	0.00	0.0%		
	電球	0.04	0.0%		
その他不燃物	2.17	0.1%			

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物		二次電池	0.05	0.0%
		その他電池	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0.00	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.00	0.0%
		薬品類(農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.10	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.51	0.0%
		土・砂	8.49	0.6%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	0.00	0.0%
		外袋	プラスチック袋	9.96
レジ袋	7.57		0.5%	
紙袋	0.62		0.0%	
合計			1,536.90	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	218.59	14.2%
	布類	96.77	6.3%
	ペットボトル	6.08	0.4%
	プラスチック	10.01	0.7%
不燃系資源	缶類	0.48	0.0%
	びん類	1.08	0.1%
	小型家電	0.64	0.0%
可燃物	生ごみ	437.95	28.5%
	紙類	55.55	3.6%
	木・草類	57.60	3.7%
	容器包装プラスチック	215.65	14.0%
	製品プラスチック	74.42	4.8%
	ゴム・皮革類	16.69	1.1%
	その他可燃物	305.91	19.9%
	金属	3.61	0.2%
不燃物	乾電池	0.38	0.0%
	ガラス製品	2.84	0.2%
	陶磁器	1.77	0.1%
	小型家電	1.37	0.1%
	傘	0.00	0.0%
	蛍光管	0.00	0.0%
	電球	0.04	0.0%
	その他不燃物	2.17	0.1%
排出禁止物	9.15	0.6%	
外袋	18.15	1.2%	

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	331.45	21.6%
不燃系資源	2.20	0.1%
可燃物	1,163.77	75.7%
不燃物	12.18	0.8%
排出禁止物	9.15	0.6%
外袋	18.15	1.2%

(2)不燃ごみ

不燃ごみの組成を図 2.1-2 及び表 2.1-2 に示す。

大分類では、不燃系資源が 5.5%、可燃系資源が 0.3%で、資源が合計 5.8%である。その他、不燃物が 84.3%、可燃物が 8.4%、排出禁止物と外袋が 0.7%の順である。

不燃物の中分類では、金属が最も多く 29.8%、次いで、陶磁器が 17.9%、小型家電が 13.1%、ガラス製品が 11.8%などの順である。

可燃物の中分類では、製品プラスチックが最も多く 5.4%で、容器包装プラスチック 1.1%と合わせると、6.5%がプラスチックである。

不燃系資源の中分類では、びん類が最も多く 2.5%である。

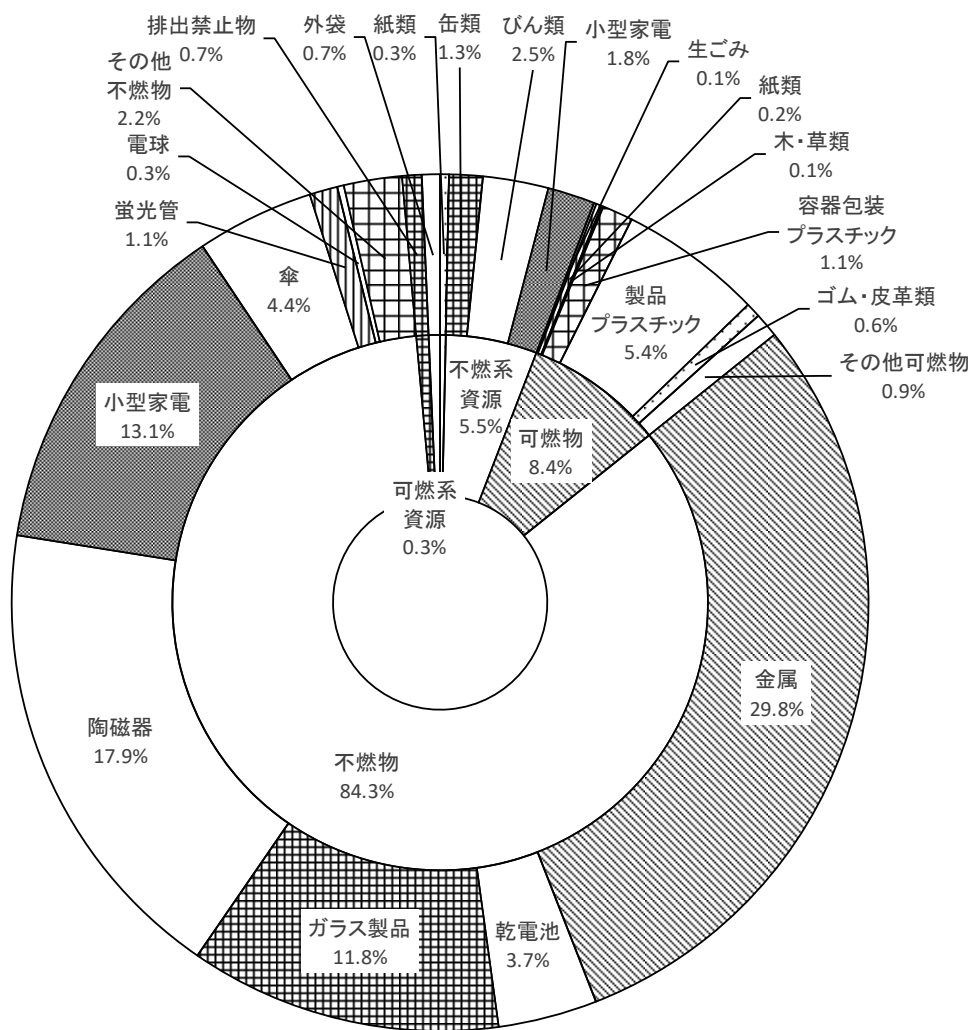


図 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果

表 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0.11	0.0%	
		折込広告	0.06	0.0%	
		雑誌・本	0.00	0.0%	
		段ボール	1.21	0.1%	
		紙パック	0.00	0.0%	
		包装紙	0.09	0.0%	
		紙袋	0.57	0.1%	
		箱類	0.60	0.1%	
		OA用紙	0.05	0.0%	
		その他紙類(リサイクル可)	0.20	0.0%	
	布類		0.05	0.0%	
	ペットボトル		0.00	0.0%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ		0.00	0.0%
白色発泡トレイ			0.00	0.0%	
色・柄付き発泡トレイ			0.00	0.0%	
食品用透明プラスチック容器			0.00	0.0%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	0.48	0.1%	
		スチール缶(飲食用)	10.59	1.2%	
	びん類	リターナブルびん		0.00	0.0%
		ワンウェイびん(無色)		15.55	1.8%
		ワンウェイびん(茶色)		2.82	0.3%
		ワンウェイびん(その他)		3.40	0.4%
小型家電(拠点回収対象)		15.72	1.8%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	0.19	0.0%	
		食べ残し	0.00	0.0%	
		調理くず	0.65	0.1%	
	紙類	新聞(汚れたもの)	1.44	0.2%	
		紙パック(アルミ付)	0.00	0.0%	
		容器包装紙類(リサイクル不可)	0.01	0.0%	
		シュレッド紙	0.00	0.0%	
		その他紙類(リサイクル不可)	0.35	0.0%	
	木・草類		0.64	0.1%	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	3.58	0.4%	
		洗剤等詰め替え容器	0.16	0.0%	
		レジ袋	0.98	0.1%	
		発泡スチロール	0.00	0.0%	
		カップ・パック	0.04	0.0%	
		フィルム	0.26	0.0%	
		アルミ蒸着	1.46	0.2%	
		チューブ	0.19	0.0%	
	その他の容器包装プラスチック	3.44	0.4%		
	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	0.07	0.0%	
		製品プラスチック(軟質)	2.15	0.2%	
		製品プラスチック(硬質)	16.19	1.8%	
		製品プラスチック(複合品)	29.06	3.3%	
	ゴム・皮革類	ゴム類	1.16	0.1%	
		皮革類	3.70	0.4%	
	その他可燃物	紙おむつ	0.00	0.0%	
		その他可燃物	8.21	0.9%	
	不燃物	金属	アルミ缶(その他)	7.52	0.9%
スチール缶(その他)			27.18	3.1%	
缶類以外の金属類			227.77	25.9%	
乾電池		筒型乾電池	32.87	3.7%	
		コイン型電池	0.07	0.0%	
ガラス製品		103.52	11.8%		
陶磁器		157.81	17.9%		
小型家電(拠点回収対象外)		115.50	13.1%		
傘		39.04	4.4%		
蛍光管		9.30	1.1%		
電球		2.22	0.3%		
その他不燃物		19.30	2.2%		

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物		二次電池	0.12	0.0%
		その他電池	0.06	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	2.71	0.3%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.45	0.1%
		薬品類(農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	3.14	0.4%
		土・砂	0.00	0.0%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
その他	0.00	0.0%		
外袋		プラスチック袋	1.54	0.2%
		レジ袋	3.80	0.4%
		紙袋	0.69	0.1%
合計			880.04	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合			
可燃系資源		紙類	2.89	0.3%		
		布類	0.05	0.0%		
		ペットボトル	0.00	0.0%		
		プラスチック	0.00	0.0%		
不燃系資源		缶類	11.07	1.3%		
		びん類	21.77	2.5%		
		小型家電	15.72	1.8%		
		生ごみ	0.84	0.1%		
可燃物		紙類	1.80	0.2%		
		木・草類	0.64	0.1%		
		容器包装プラスチック	10.11	1.1%		
		製品プラスチック	47.47	5.4%		
		ゴム・皮革類	4.86	0.6%		
		その他可燃物	8.21	0.9%		
		不燃物		金属	262.47	29.8%
				乾電池	32.94	3.7%
ガラス製品	103.52			11.8%		
陶磁器	157.81			17.9%		
小型家電	115.50			13.1%		
傘	39.04			4.4%		
蛍光管	9.30			1.1%		
電球	2.22	0.3%				
その他不燃物	19.30	2.2%				
排出禁止物		6.48	0.7%			
外袋		6.03	0.7%			

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	2.94	0.3%
不燃系資源	48.56	5.5%
可燃物	73.93	8.4%
不燃物	742.10	84.3%
排出禁止物	6.48	0.7%
外袋	6.03	0.7%

2 住居形態別

(1)可燃ごみ

可燃ごみの住居形態別の組成を図 2.2-1 に示す。

住居形態別の可燃物の割合は、アパート等混在が最も高く 77.9%、次いで、マンションが 75.9%、一戸建てが 73.9%の順である。

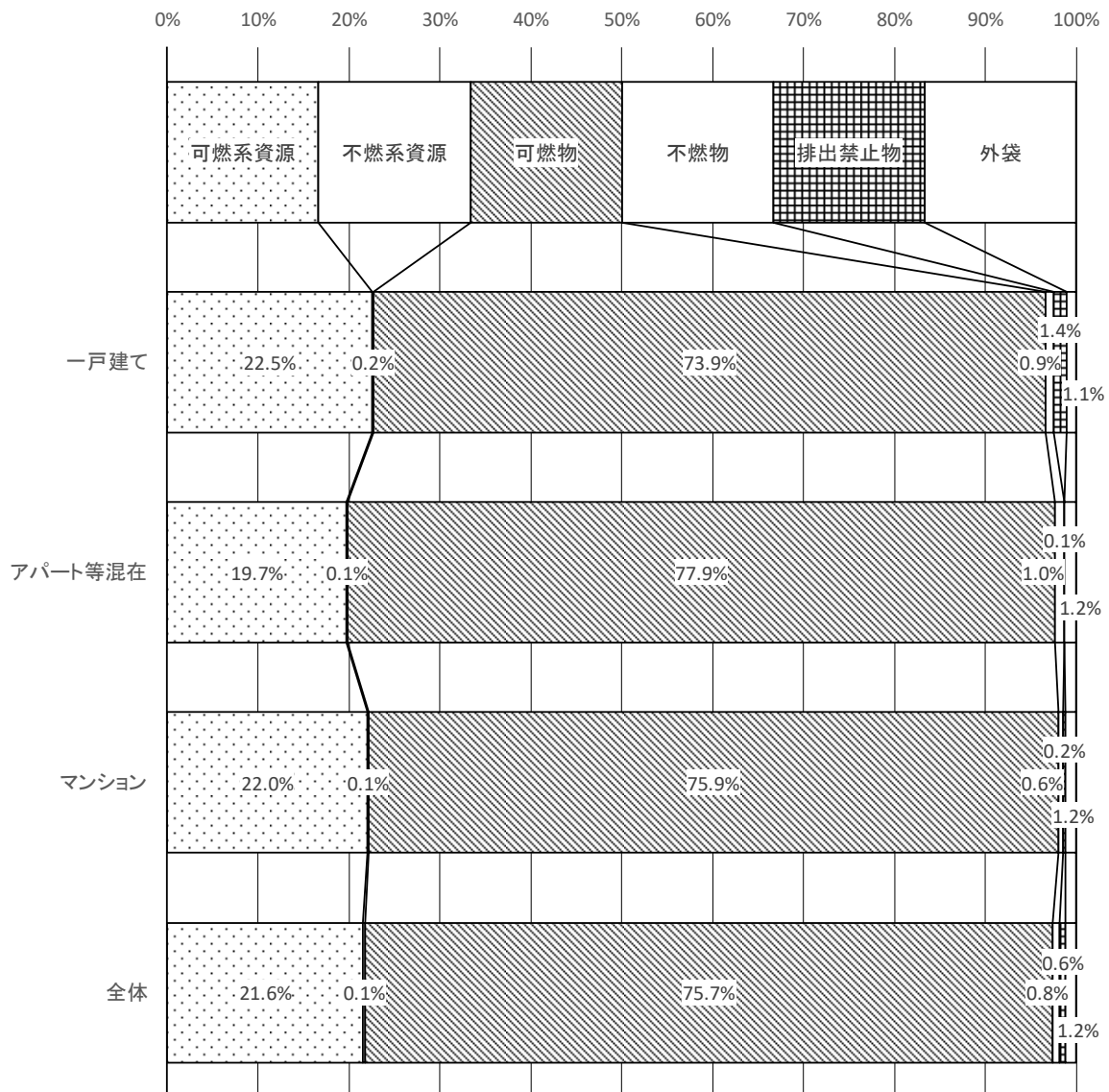


図 2.2-1 可燃ごみの住居形態別の組成分析結果

(2)不燃ごみ

不燃ごみの住居形態別の組成を図 2.2-2 に示す。

住居形態別の不燃物の割合は、一戸建てが最も高く 88.5%、次いで、マンションが 82.3%、アパート等混在が 81.6%の順である。

可燃物の割合は、マンションが最も高く 10.7%、次いで、一戸建てが 7.0%、アパート等混在が 6.6%の順であり、一人暮らしが多いと想定される「アパート等混在」よりも、「マンション」の方が不燃ごみに含まれる可燃ごみの割合が多い。

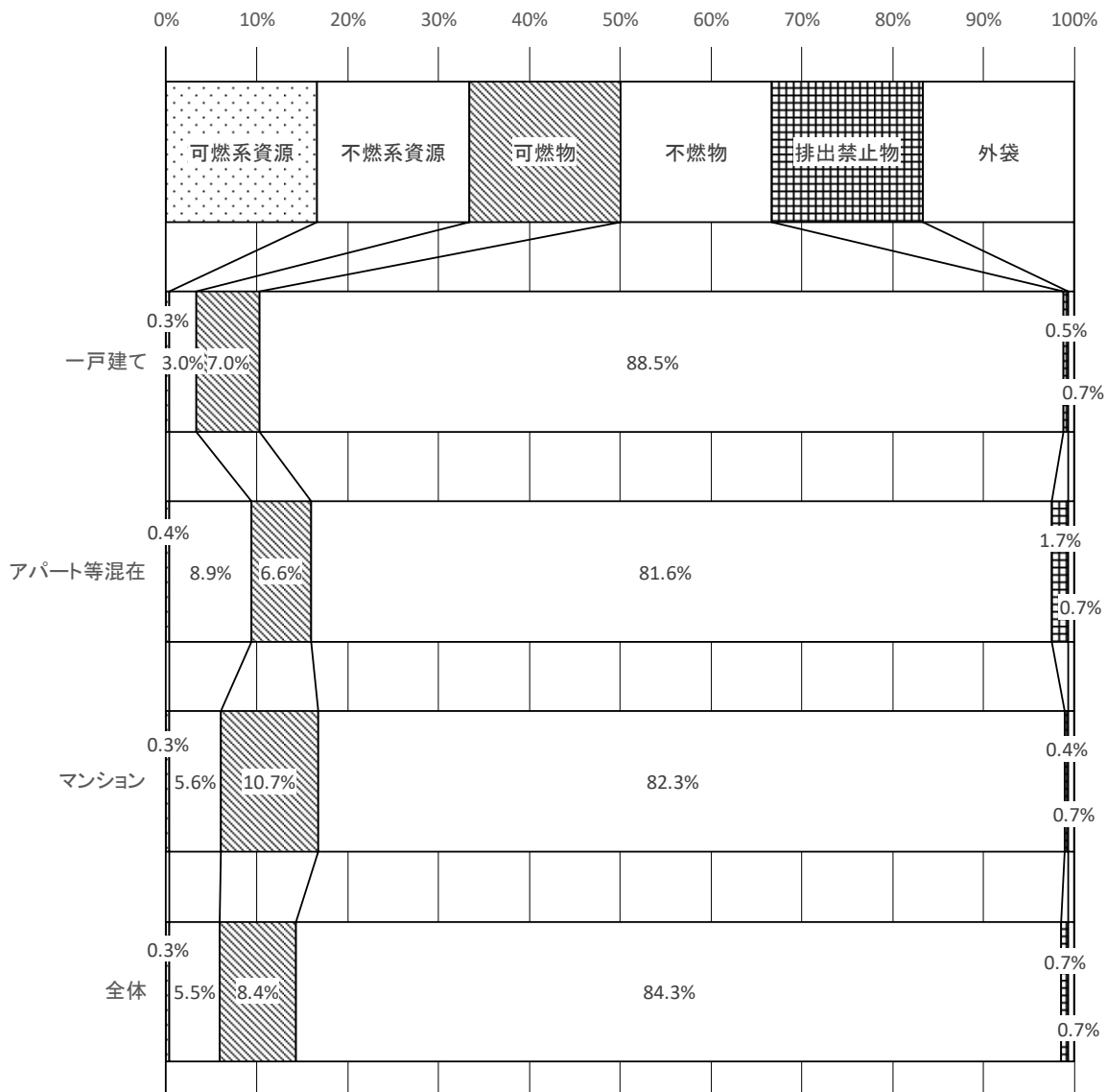


図 2.2-2 不燃ごみの住居形態別の組成分析結果

3 過去の調査結果との比較

(1)可燃ごみ

可燃ごみの過去の調査結果との比較を、表 2.3-1 及び図 2.3-1 に示す。

可燃系資源は、平成 23 年度には 27.1%であったが、平成 24 年度以降は 18.9～23.6%で推移しており、今回調査では 21.6%である。

可燃物は、平成 23 年度には 70.5%であったが、平成 24 年度以降は 74.6～79.1%で推移しており、今回調査では 75.7%である。

可燃物のうち、生ごみは、平成 24 年度以降は減少傾向が続いており、今回調査では 28.5%とこれまでで最も低い。容器包装プラスチックと製品プラスチックは増加傾向がみられる。

不燃物は、0.2～1.0%で推移しており、今回調査は 0.8%である。

排出禁止物は、0.0～1.5%で推移しており、今回調査は 0.6%である。

表 2.3-1 可燃ごみの過去の調査結果との比較

		単位:%										
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4
可燃系資源		27.1	22.2	23.6	22.9	20.8	21.6	21.3	18.9	21.9	19.4	21.6
不燃系資源		0.3	0.4	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1
可燃物	生ごみ	29.0	37.3	35.2	36.1	35.7	32.7	31.1	31.6	28.6	30.0	28.5
	紙類	2.8	2.2	2.2	2.4	1.7	1.9	2.2	3.2	2.4	4.2	3.6
	木・草類	10.2	8.1	5.2	4.3	7.8	9.8	4.3	3.8	4.9	4.4	3.7
	容器包装プラスチック	9.9	10.9	11.2	11.3	10.8	10.7	14.2	14.0	12.6	13.2	14.0
	製品プラスチック	2.0	1.9	2.7	2.8	2.5	3.0	2.9	2.5	3.2	4.7	4.8
	ゴム・皮革類	2.0	1.9	0.9	0.7	1.3	1.1	0.4	1.1	1.2	0.9	1.1
	その他可燃物	14.6	13.8	17.2	17.5	17.1	17.2	20.4	22.9	23.5	20.5	19.9
小計		70.5	76.1	74.6	75.1	76.9	76.4	75.5	79.1	76.4	77.8	75.7
不燃物		0.9	0.3	0.5	0.7	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	1.0	0.8
排出禁止物		0.2	0.2	0.1	0.2	0.9	0.3	1.5	0.0	0.0	0.2	0.6
外袋		1.1	0.7	0.8	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

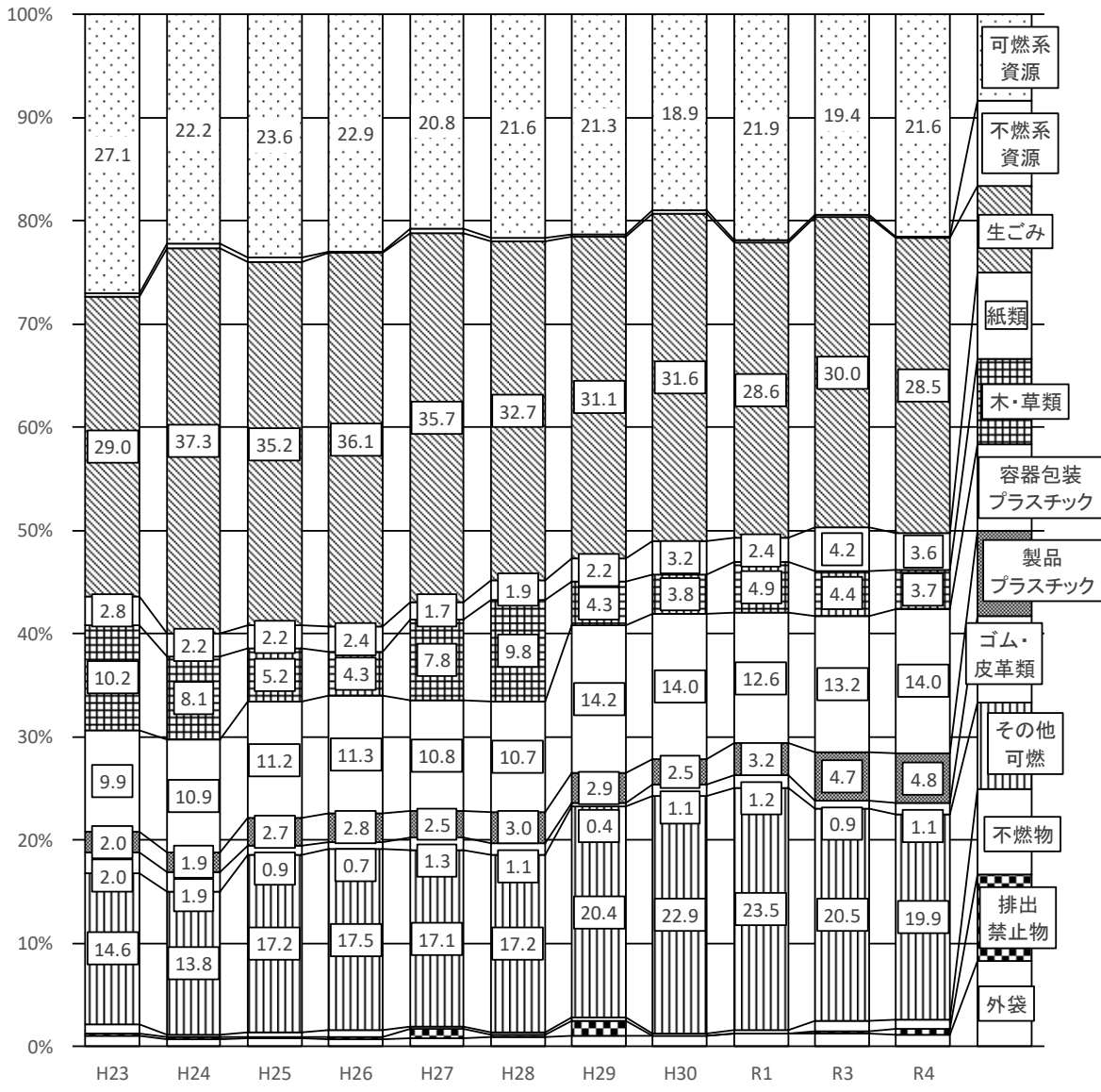


図 2.3-1 可燃ごみの過去の調査結果との比較

(2)不燃ごみ

不燃ごみの過去の調査結果※との比較を、表 2.3-2 及び図 2.3-2 に示す。
 不燃系資源は、平成 30 年度以降は減少傾向が見られ、今回調査は 5.5%である。
 可燃物は、5.3~14.4%で推移し、今回調査は 8.4%である。
 不燃物は、今回調査では 84.3%とこれまでで最も高い。
 排出禁止物は、0.3~5.7%で推移しており、今回調査は 0.7%である。

表 2.3-2 不燃ごみの過去の調査結果との比較

		単位:%										
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4
可燃系資源		3.0	0.8	0.5	0.3	0.5	0.6	1.2	0.4	0.8	1.7	0.3
不燃系資源		11.4	12.7	13.1	13.8	8.2	11.1	11.5	9.4	9.4	7.5	5.5
可燃物		11.3	14.4	9.3	8.9	8.5	13.5	7.5	5.3	9.0	11.6	8.4
不燃物	金属類	18.4	22.2	23.8	22.8	27.9	25.9	20.4	24.4	21.9	24.9	29.8
	電池	1.4	1.9	3.3	1.6	2.5	2.7	4.5	3.2	2.7	2.7	3.7
	ガラス製品	5.2	7.5	8.2	5.1	4.2	7.8	9.8	6.8	10.0	9.0	11.8
	陶磁器	13.5	16.7	16.4	20.8	22.9	16.0	17.3	29.7	19.5	13.3	17.9
	小型家電	18.0	12.6	15.0	15.6	14.4	11.9	13.7	10.6	14.4	17.4	13.1
	傘	2.6	2.7	3.9	3.2	2.0	4.3	4.5	3.2	3.4	4.1	4.4
	蛍光管	0.8	1.4	1.5	0.8	0.7	0.9	1.2	0.6	1.5	0.5	1.1
	電球	0.4	0.6	0.5	0.3	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3
	その他不燃物	11.6	3.2	1.9	3.1	1.4	2.4	1.3	5.0	5.6	4.1	2.2
小計		71.9	68.8	74.5	73.3	76.5	72.3	73.3	83.9	79.3	76.4	84.3
排出禁止物		1.5	2.4	1.2	2.0	5.7	1.5	5.7	0.3	0.4	2.0	0.7
外袋		0.9	0.7	1.2	0.7	0.7	0.9	0.9	0.6	1.0	0.8	0.7
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

※ 小型家電については、令和元年度以前の調査では、小型家電（拠点回収対象）と小型家電（拠点回収対象外）の分類はしていなかった。そのため、令和元年度以前の調査結果の小型家電全体の割合に、令和 4 年度の小型家電全体に占める小型家電（拠点回収対象）の割合 12%を乗じて、小型家電（拠点回収対象）の割合を推計し、不燃系資源とした。

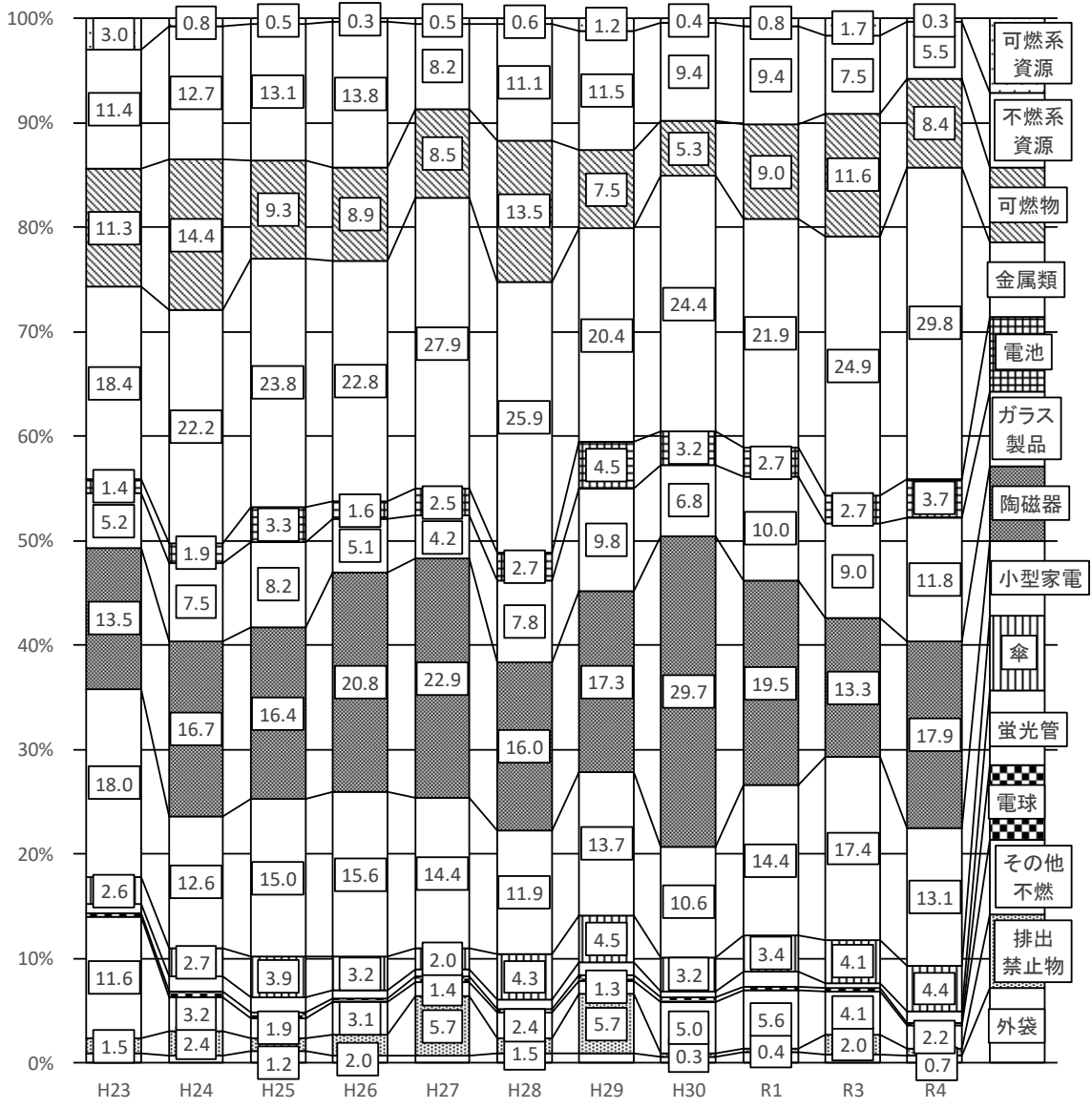


図 2.3-2 不燃ごみの過去の調査結果との比較

4 その他調査結果

(1)可燃ごみの食品ロス

可燃ごみ及び生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を表 2.4-1 に示す。直接廃棄が 5.3%、食べ残しが 3.3%で、8.6%が食品ロスである。

生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を図 2.4-1 に示す。直接廃棄が 18.7%、食べ残しが 11.5%で、30.2%が食品ロスである。

表 2.4-1 可燃ごみ及び生ごみに占める食品ロス等の割合

		可燃ごみに占める割合		生ごみに占める割合	
		重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
食品ロス	直接廃棄	81.80	5.3%	81.80	18.7%
	食べ残し	50.57	3.3%	50.57	11.5%
	小計	132.37	8.6%	132.37	30.2%
調理くず		305.58	19.9%	305.58	69.8%
生ごみ小計		437.95	28.5%	437.95	100.0%
生ごみ以外		1,098.95	71.5%		
合計		1,536.90	100.0%		

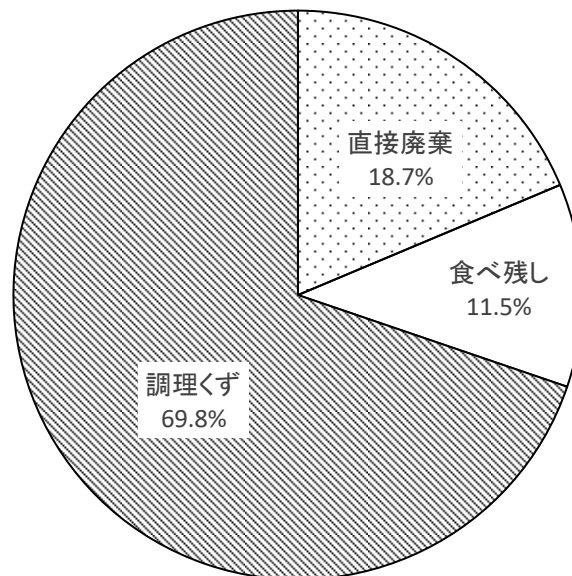


図 2.4-1 生ごみに占める食品ロス等の割合

(2)プラスチック

①レジ袋

レジ袋の内訳を表 2.4-2 に示す。可燃ごみでは 37.0%、不燃ごみでは 79.5%がごみを排出するための外袋として使用されている。

表 2.4-2 レジ袋の重量と割合

	可燃ごみ		不燃ごみ	
	重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
可燃物	12.91	63.0%	0.98	20.5%
外袋	7.57	37.0%	3.80	79.5%
合計	20.48	100.0%	4.78	100.0%

②可燃ごみに含まれる製品プラスチック(硬質・複合品)

可燃ごみに含まれている、製品プラスチック(硬質)及び製品プラスチック(複合品)のうち1個の重量が50g以上のものの素材表示の有無と材質を表 2.4-3 に示す。素材表示があるものは重量比で 10.6%であり、このうち 7.3%がポリプロピレン、1.9%がポリスチレンである。

表 2.4-3 製品プラスチック(硬質・複合品)の素材表示の有無と材質

		個数		重量	
		個数 (個)	割合	重量 (kg)	割合
表示あり	ポリエチレン	2	1.1%	0.18	0.6%
	ポリプロピレン	23	12.6%	2.24	7.3%
	ポリスチレン	6	3.3%	0.59	1.9%
	ABS樹脂	1	0.5%	0.24	0.8%
	小計	32	17.5%	3.25	10.6%
表示なし		151	82.5%	21.01	68.5%
50g未満		-	-	6.40	20.9%
合計		183	100.0%	30.66	100.0%

③可燃ごみに含まれる特定プラスチック使用製品

可燃ごみに含まれている、「プラスチック資源循環促進法」の特定プラスチック使用製品のうち、テイクアウト用のカトラリー、クリーニング店の衣類用ハンガー、衣類用カバーの重量と割合を表 2.4-4 に示す。カトラリーが 0.93kg、ハンガーが 0.55kg、衣類用カバーが 1.06kg である。ただし、衣類用カバーについては、調査で衣類用カバーかどうかの判別が難しいものが多かったため、重量が過小に計上されている可能性がある。

表 2.4-4 特定プラスチック使用製品の重量と割合

	重量(kg)	割合
カトラリー	0.93	36.6%
ハンガー	0.55	21.7%
衣類用カバー	1.06	41.7%
合計	2.54	100.0%

(3)小型家電

可燃ごみの小型家電の個数と重量を表 2.4-5 に示す。可燃ごみには、27 個 2.01kg の小型家電があり、拠点回収対象品目が 7 個 0.64 kg、拠点回収対象品目以外が 20 個 1.37 kgである。

表 2.4-5 可燃ごみの小型家電の個数と重量

	拠点回収対象品目		拠点回収対象品目以外		合計		
	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	
1	電話機、ファクシミリ装置その他の有線通信機械器具						
2	携帯電話端末、PHS 端末その他の無線通信機械器具						
3	ラジオ受信機及びテレビジョン受信機						
4	デジタルカメラ、ビデオカメラ、ディー・ビー・ディーレコーダー その他の映像用機械器具						
5	デジタルオーディオプレーヤー、ステレオセットその他の電気音響機械器具	1	0.15	5	0.20	6	0.35
6	パーソナルコンピュータ						
7	磁気ディスク装置、光ディスク装置その他の記憶装置						
8	プリンターその他の印刷装置						
9	ディスプレイその他の表示装置						
10	電子書籍端末						
11	電動ミシン						
12	電気グラインダー、電気ドリルその他の電動工具						
13	電子式卓上計算機その他の事務用電気機械器具						
14	ハルスメーターその他の計量用又は測定用の電気機械器具						
15	電動式吸入器その他の医療用電気機械器具						
16	フィルムカメラ						
17	ジャー炊飯器、電子レンジその他の台所用電気機械器具						
18	扇風機、電気除湿機その他の空調用電気機械器具						
19	電気アイロン、電気掃除機その他の衣料用又は衛生用の電気機械器具						
20	電気こたつ、電気ストーブその他の保温用電気機械器具						
21	ヘアドライヤー、電気かみそりその他の理容用電気機械器具						
22	電気マッサージ器						
23	ランニングマシンその他の運動用電気機械器具						
24	電気芝刈り機その他の園芸用電気機械器具						
25	蛍光灯器具その他の電気照明器具			1	0.10	1	0.10
26	電子時計及び電気時計			3	0.18	3	0.18
27	電子楽器及び電気楽器						
28	ゲーム機その他の電子玩具及び電動式玩具			1	0.25	1	0.25
29	付属品（リモコン ケーブル 充電器 プラグ・ジャック AC アダプタ）	6	0.49	10	0.64	16	1.13
	合計	7	0.64	20	1.37	27	2.01

不燃ごみの小型家電の個数と重量を表 2.4-6 に示す。不燃ごみには、361 個 131.22kg の小型家電があり、拠点回収対象品目が 104 個 15.72 kg、拠点回収対象品目以外が 257 個 115.50 kgである。

表 2.4-6 不燃ごみの小型家電の個数と重量

	拠点回収対象品目		拠点回収対象品目以外		合計	
	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)
1 電話機、ファクシミリ装置その他の有線通信機械器具	5	2.11	2	0.39	7	2.50
2 携帯電話端末、PHS 端末その他の無線通信機械器具	1	0.17			1	0.17
3 ラジオ受信機及びテレビジョン受信機			3	0.41	3	0.41
4 デジタルカメラ、ビデオカメラ、ディー・ビー・ディーレコーダー その他の映像用機械器具	2	0.60	2	1.78	4	2.38
5 デジタルオーディオプレーヤー、ステレオセットその他の電気音響機械器具	1	0.08	25	5.63	26	5.71
6 パーソナルコンピュータ						
7 磁気ディスク装置、光ディスク装置その他の記憶装置						
8 プリンターその他の印刷装置			1	0.19	1	0.19
9 ディスプレイその他の表示装置			2	0.73	2	0.73
10 電子書籍端末						
11 電動ミシン						
12 電気グラインダー、電気ドリルその他の電動工具						
13 電子式卓上計算機その他の事務用電気機械器具	4	0.68	5	0.31	9	0.99
14 ヘルスメーターその他の計量用又は測定用の電気機械器具			8	4.56	8	4.56
15 電動式吸入器その他の医療用電気機械器具			1	0.35	1	0.35
16 フィルムカメラ						
17 ジャー炊飯器、電子レンジその他の台所用電気機械器具			33	40.17	33	40.17
18 扇風機、電気除湿機その他の空調用電気機械器具			4	2.15	4	2.15
19 電気アイロン、電気掃除機その他の衣料用又は衛生用の電気機械器具			10	5.92	10	5.92
20 電気こたつ、電気ストーブその他の保温用電気機械器具			2	1.99	2	1.99
21 ヘアドライヤー、電気かみそりその他の理容用電気機械器具			22	6.09	22	6.09
22 電気マッサージ器			2	1.02	2	1.02
23 ランニングマシンその他の運動用電気機械器具						
24 電気芝刈り機その他の園芸用電気機械器具						
25 蛍光灯器具その他の電気照明器具			28	9.84	28	9.84
26 電子時計及び電気時計			16	4.91	16	4.91
27 電子楽器及び電気楽器						
28 ゲーム機その他の電子玩具及び電動式玩具			12	5.35	12	5.35
29 付属品 (リモコン ケーブル 充電器 プラグ・ジャック AC アダプタ)	91	12.08	79	23.71	170	35.79
合計	104	15.72	257	115.50	361	131.22

(4)排出禁止物等の個数

電池・蛍光管・電球・排出禁止物等の個数と重量を表 2.4-7 に示す。

今回調査の全サンプル（可燃ごみ、不燃ごみ）中、二次電池が 5 個 0.17kg、その他電池（ボタン電池等）が 12 個 0.06 kg、中身の入ったエアゾール缶が 19 個 2.71kg、中身の入った簡易ガスライターが 25 個 0.45kg、注射器・針が 3 個 0.10kg、石が 3 個 3.65kg、土・砂が 3 個 8.49 kg である。

電池（不燃物）は全サンプル中に 1,528 個 33.32 kg あり、その内訳は、筒型乾電池が 1,518 個 33.25 kg、コイン型電池が 10 個 0.07 kg である。蛍光管は 61 本 9.30kg、電球は 87 個 2.26kg である。

表 2.4-7 排出禁止物等の個数と重量

	可燃ごみ		不燃ごみ		合計	
	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)
電池（不燃物）	20	0.38	1,508	32.94	1,528	33.32
筒型乾電池	20	0.38	1,498	32.87	1,518	33.25
コイン型電池			10	0.07	10	0.07
蛍光管			61	9.30	61	9.30
電球	7	0.04	80	2.22	87	2.26
排出禁止物	10	9.15	60	6.48	70	15.63
二次電池	2	0.05	3	0.12	5	0.17
その他電池（ボタン電池等）			12	0.06	12	0.06
水銀体温計						
水銀血圧計						
中身の入ったエアゾール缶			19	2.71	19	2.71
中身の入ったカセットボンベ						
中身の入った簡易ガスライター			25	0.45	25	0.45
薬品類（農薬・劇薬）						
注射器・針	3	0.10			3	0.10
石油類						
ペンキ等の塗料						
バッテリー						
石	2	0.51	1	3.14	3	3.65
土・砂※	3	8.49			3	8.49
ブロック・レンガ						
その他						

※土・砂の個数は、1つの排出袋から出たものを1個としてカウントした。

(5)外袋の形状別の個数及び割合

外袋の形状別の個数及び割合を表 2.4-8 に示す。

可燃ごみでは、プラスチック袋による排出が最も多く 51.4%、次いで、レジ袋が 47.8%、紙袋が 0.8%の順である。プラスチック袋では 45 リットル袋の使用が 39.0%と多く、次いで、30 リットル袋が 6.7%である。

不燃ごみでは、レジ袋による排出が最も多く 60.8%、次いで、プラスチック袋が 37.2%、紙袋が 1.9%である。プラスチック袋では 10 リットル袋の使用が 27.4%と多く、次いで、45 リットル袋が 6.1%である。

表 2.4-8 外袋の形状別の個数及び割合

	可燃ごみ		不燃ごみ	
	個数(個)	割合	個数(個)	割合
プラスチック袋	453	51.4%	251	37.2%
10リットル	17	1.9%	185	27.4%
20リットル	13	1.5%	12	1.8%
30リットル	59	6.7%	9	1.3%
45リットル	344	39.0%	41	6.1%
70リットル	10	1.1%	2	0.3%
90リットル	10	1.1%	2	0.3%
レジ袋	421	47.8%	410	60.8%
紙袋	7	0.8%	13	1.9%
その他	0	0.0%	0	0.0%
合計	881	100.0%	674	100.0%

(6)ごみ袋1袋あたりの重量

ごみ袋1袋あたりの重量を表2.4-9に示す。

可燃ごみの平均重量は1.71kg/個である。平均重量が最大のものは90リットル袋で7.07kg/個であり、最小のものは10リットル袋で0.08kg/個である。

不燃ごみの平均重量は1.12kg/個である。平均重量が最大のものは70リットル袋で7.46kg/個であり、最小のものは10リットル袋で0.29kg/個である。

表 2.4-9 ごみ袋1袋あたりの重量

	可燃ごみ			不燃ごみ		
	個数 (個)	重量 (kg)	平均 (kg/個)	個数 (個)	重量 (kg)	平均 (kg/個)
プラスチック袋	453	1,105.91	2.44	251	271.90	1.08
10リットル	17	1.40	0.08	185	53.76	0.29
20リットル	13	16.62	1.28	12	22.45	1.87
30リットル	59	99.21	1.68	9	17.38	1.93
45リットル	344	886.36	2.58	41	154.97	3.78
70リットル	10	31.67	3.17	2	14.91	7.46
90リットル	10	70.65	7.07	2	8.43	4.22
レジ袋	421	397.24	0.94	410	467.46	1.14
紙袋	7	4.57	0.65	13	18.59	1.43
その他	0	0.00	-	0	0.00	-
合計	881	1,507.72	1.71	674	757.95	1.12

第3章 家庭ごみ計量調査結果

(1)可燃ごみの排出原単位

可燃ごみの世帯人数等別の排出原単位を図 3.1-1 に示す。

世帯人数等別では、1人世帯・30歳未満が 228.7 g/人日、1人世帯・30歳以上が 392.9 g/人日、2人世帯が 403.2 g/人日、3人世帯が 381.2 g/人日、4人以上世帯が 324.3 g/人日である。

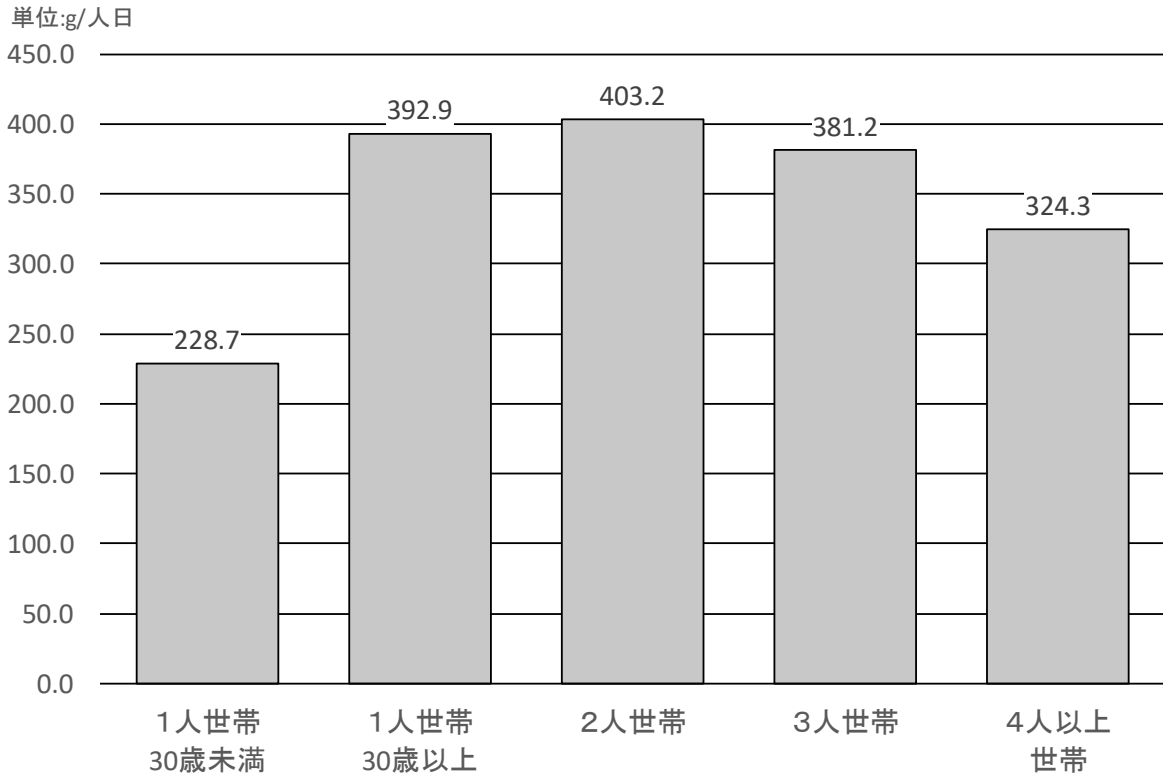


図 3.1-1 可燃ごみの世帯人数等別の排出原単位

第2部 事業系ごみ組成分析調査報告書

第1章 調査目的と概要

1 調査目的

本調査は、①事業所から区収集に排出される可燃ごみの組成と分別状況、②事業系有料ごみ処理券の貼付状況を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

2 調査概要

(1)調査対象

本調査は、区で収集している事業系ごみ※を対象とすることから、事業系ごみが排出されそうな地区を選定し、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや、ごみの排出状況や内容から明らかに事業系ごみと判断されるものを調査対象とした。

調査対象地区は、事業所が多い三軒茶屋駅周辺、下北沢駅周辺、二子玉川・用賀駅周辺を選定した。収集したごみを表 1.2-1 に示す業種別に調査した。

なお、令和3年度「世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査報告書（令和3年度版）」において事業系不燃ごみの調査を行ったが、3地域で20事業所のサンプルしか得られず、事業系不燃ごみはごく少量しか排出されていないと推測されたため、事業系不燃ごみの組成分析調査は実施しなかった。

表 1.2-1 業種分類

食料品店	
その他店舗	アパレル業、花屋、美容院、理容室、自転車販売店、薬局、雑貨店など
飲食店	
事務所	保険会社、士師業、公証役場、不動産業など
医療業	医院・クリニック、歯科医院、整体院、鍼灸整骨院、マッサージなど
教育業	幼稚園、学習塾など
その他	駐車場、多目的スペース、スタジオ、造園業、劇場、官公庁、訪問介護など

※ 世田谷区では、家庭廃棄物の収集に支障が生じない範囲において、小規模事業者の一般廃棄物及び産業廃棄物を有料で収集している。

なお、世田谷区が一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物とは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）第2条第4項及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第2条に規定する産業廃棄物のうち、廃プラスチック類（原則としてプラスチック製造業及びプラスチック加工業から排出されるものを除く。）、紙くず、木くず、金属くず（廃油等が付着しているものを除く。）、ガラスくず及び陶磁器くずの6品目である。

表 1.2-2 に、サンプル量を示す。サンプル量は 2,282.08kg である。

表 1.2-2 サンプル量

単位：kg

	食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	全体
三軒茶屋駅周辺	73.11	182.43	301.56	66.21	110.16	0.00	55.88	789.35
下北沢駅周辺	0.00	218.85	289.37	47.24	69.28	11.77	77.85	714.36
二子玉川・用賀駅周辺	40.55	224.95	223.01	72.59	81.38	69.08	66.81	778.37
全体	113.66	626.23	813.94	186.04	260.82	80.85	200.54	2,282.08

(2)調査期間

調査期間を表 1.2-3 に示す。

表 1.2-3 調査期間

5月19日(木)	下北沢①
5月20日(金)	
5月21日(土)	二子玉川・用賀①
5月22日(日)	
5月23日(月)	下北沢②
5月24日(火)	三軒茶屋①
5月25日(水)	二子玉川・用賀②
5月26日(木)	
5月27日(金)	三軒茶屋②
5月28日(土)	

(3)調査方法

調査対象地区の集積所から、事業系有料ごみ処理券が貼付されている可燃ごみと、集積所や内容から事業系ごみと見られる可燃ごみをサンプルとして収集した。表 1.2-1 の 7 業種に分けて、袋の容量と貼付されている事業系有料ごみ処理券の容量を記録するとともに、品目ごとの重量等を測定した。なお、分析は湿ベース（ごみが水分を含んだ状態での重量）で行った。

(4)分類

分類を表 1.2-4 に示す。大分類 6 種類、中分類 23 種類、小分類 79 種類とした。大分類の可燃系資源と不燃系資源は、事業系資源を資源化するルートがある品目である。

家庭ごみでは、小型家電を拠点回収対象と拠点回収対象外に分け、拠点回収対象を不燃系資源として集計しているが、事業系ごみは拠点回収の対象ではないため、小型家電としてまとめて分類している。

家庭ごみでは、布類、ペットボトルキャップ等の 4 品目を可燃系資源として集計しているが、事業系ごみは拠点回収の対象ではないため、大分類の可燃物として集計している。一方、家庭ごみでは大分類の可燃物として集計しているシュレッド紙は、事業系ごみでは事業系古紙回収システムの対象であるため、大分類の可燃系資源として集計している。

表 1.2-4(1) 分類表その1

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）	
可燃系資源	紙類	新聞（きれいなもの）	読んだだけでごみに出されたもの	
		折込広告	新聞の折込広告	
		雑誌・本		
		段ボール		
		紙パック	内側が白く、500ミリ以上で「紙パック」マークがついたもの	
		包装紙	紙だけでできているもので区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの	
		紙袋		
		箱類		
		OA用紙		
		シュレッド紙		
	その他紙類（リサイクル可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの		
ペットボトル	飲料や調味料のペットボトルで「PET」マークがついたもの			
不燃系資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	ペットフード含む	
		スチール缶（飲食用）	ペットフード含む	
	びん類	リターナブルびん	一升びん、ビールびんなどの繰り返し使えるびん	
		ワンウェイびん（無色）	飲料水、調味料、びん詰、栄養ドリンクなどの飲料用のびん	
		ワンウェイびん（茶色）		
ワンウェイびん（その他）				
可燃物	生ごみ	直接廃棄	利用されずにそのまま捨てられた食品	
		食べ残し		
		調理くず		
	紙類	新聞（汚れたもの）	読む以外の用途に使用したもの、汚れのあるもの	
		紙パック（アルミ付）	内側が銀色の紙パック	
		容器包装紙類（リサイクル不可）	四角い紙パック、ビニールコートなどの加工紙、においや汚れの付いているもの	
		その他紙類（リサイクル不可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せないもの（写真、感熱紙、カーボン紙）	
	布類	衣類、布製テーブルクロス、ハンカチ、タオル		
	木・草類	庭木・落ち葉・草、生花		
	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	ペットボトルキャップ	キャップが単体で排出されたもの
			白色発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色のもの
			色・柄付き発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色以外のもの
		食品用透明プラスチック容器	生鮮食品・加工食品が入っていた無色透明なプラスチック製の容器	
		ペットボトル以外のボトル	シャンプーや洗剤などのボトル	
		洗剤等詰め替え容器	シャンプーや洗剤などの詰め替え用のパウチ	
		レジ袋		
		発泡スチロール		
		カップ・パック	弁当ガラ、果物・たまごなどのパック、乳酸飲料、ヨーグルト、プリンなどのカップ、豆腐容器	
		フィルム	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装	
		アルミ蒸着	スナック菓子の袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装など銀色のもの	
		チューブ	マヨネーズ、歯磨き粉	
		その他の容器包装プラスチック	緩衝材、ネット、びんのふた	

表 1.2-4(2) 分類表その2

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃物	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	飲食店等のカトラリー、クリーニング店のハンガー・衣類用袋
		製品プラスチック（軟質）	フィルム状の食品保存容器、市販の袋
		製品プラスチック（硬質）	歯ブラシ、CD、ケースなどプラスチックだけでできているもの
		製品プラスチック（複合品）	プラスチックの玩具、ボールペンなどプラスチック以外の素材との複合品
	ゴム・皮革類	ゴム類 皮革類	ゴム手袋、自転車タイヤ・チューブ、輪ゴム 革ジャンパー、皮製ハンドバック、革ベルト
その他可燃物	紙おむつ		
	その他可燃物	ティッシュ、たばこの吸殻、化学ぞうきん、ガムテープ、割り箸、木製品	
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	空のスプレー缶、空のカセットボンベ、塗料の缶、自動車オイルの缶などのアルミ缶
		スチール缶（その他）	空のスプレー缶、塗料の缶、自動車オイルの缶などのスチール缶
		缶類以外の金属類	なべ、フライパン、アルミホイル、刃物、飲食用以外の缶
	乾電池	筒型乾電池	
		コイン型電池	
	ガラス製品	ガラス製品、割れたびん、汚れたびん	
	陶磁器		
	小型家電（拠点回収対象外）		
	傘		
	蛍光管		
	電球		
その他不燃物			
排出禁止物	二次電池（充電式）	リチウムイオン電池などの充電式の電池	
	その他電池（ボタン電池等）	ボタン型の電池	
	水銀体温計		
	水銀血圧計		
	中身の入ったエアゾール缶		
	中身の入ったカセットボンベ		
	中身の入った簡易ガスライター		
	薬品類（農薬・劇薬）		
	注射器・針		
	石油類		
	ペンキ等の塗料		
	バッテリー		
	石		
	土・砂		
ブロック・レンガ			
その他	粗大ごみ		
外袋	プラスチック袋	ごみ袋として使われた透明ごみ袋、半透明ごみ袋	
	レジ袋	ごみ袋として使われたレジ袋	
	紙袋	ごみ袋として使われた紙袋	

(5)留意事項

構成比の合算値は四捨五入の関係上 100%にならないものがある。

第2章 事業系可燃ごみ組成分析調査結果

1 全体

組成分析結果を図 2.1-1 及び表 2.1-1 に示す。

大分類では、可燃系資源が 20.5%、不燃系資源が 0.2% で、資源が合計 20.7% である。その他、可燃物が 75.6%、排出禁止物が 1.7%、外袋が 1.2%、不燃物が 0.8% の順である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 25.2%、次いで、その他可燃物が 18.4%、容器包装プラスチックが 10.0% などの順である。生ごみの小分類では、直接廃棄が 1.5%、食べ残しが 2.4% で、合計 3.9% が食品ロスである。

可燃系資源の中分類では、紙類が 20.0%、ペットボトルが 0.5% である。紙類の小分類では、その他紙類（リサイクル可）が 5.4% と最も多く、次いで、箱類が 4.0%、シュレツド紙が 3.3% などの順である。

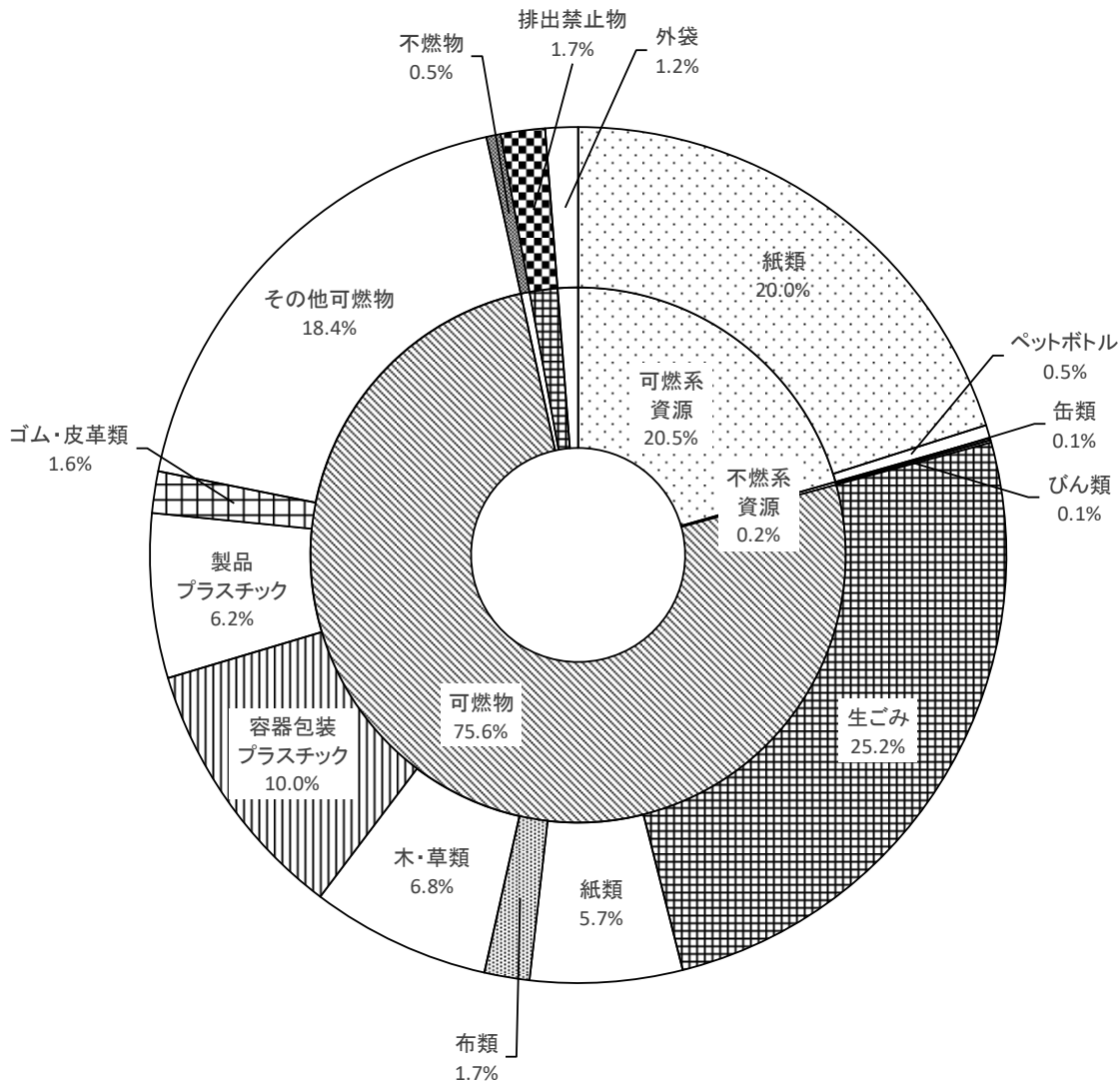


図 2.1-1 組成分析結果

表 2.1-1 組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
可燃系資源	紙類	新聞 (きれいなもの)	3.11	0.1%	
		折込広告	1.55	0.1%	
		雑誌・本	60.29	2.6%	
		段ボール	21.10	0.9%	
		紙パック	8.65	0.4%	
		包装紙	14.04	0.6%	
		紙袋	11.90	0.5%	
		箱類	91.61	4.0%	
		OA用紙	46.81	2.1%	
		シュレッド紙	75.61	3.3%	
		その他紙類 (リサイクル可)	122.76	5.4%	
		ペットボトル	11.39	0.5%	
	不燃系資源	缶類	アルミ缶 (飲食用)	1.33	0.1%
スチール缶 (飲食用)			0.59	0.0%	
びん類		リターナブルびん	0.00	0.0%	
		ワンウェイびん(無色)	1.03	0.0%	
		ワンウェイびん(茶色)	0.88	0.0%	
		ワンウェイびん(その他)	0.13	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	34.75	1.5%	
		食べ残し	53.66	2.4%	
		調理くず	487.76	21.4%	
	紙類	新聞 (汚れたもの)	28.08	1.2%	
		紙パック (アルミ付)	8.28	0.4%	
		容器包装紙類 (リサイクル不可)	27.73	1.2%	
		その他紙類 (リサイクル不可)	66.70	2.9%	
	布類	38.63	1.7%		
	木・草類	154.29	6.8%		
	容器包装プラスチック	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	2.72	0.1%
白色発泡トレイ			1.29	0.1%	
色・柄付き発泡トレイ			1.91	0.1%	
食品用透明プラスチック容器			0.78	0.0%	
ペットボトル以外のボトル			27.82	1.2%	
洗剤等詰め替え容器			3.09	0.1%	
レジ袋			14.30	0.6%	
発泡スチロール			4.83	0.2%	
カップ・パック			57.22	2.5%	
フィルム			89.58	3.9%	
アルミ蒸着			12.26	0.5%	
チューブ			1.73	0.1%	
その他の容器包装プラスチック			11.67	0.5%	
製品プラスチック	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	4.91	0.2%	
		製品プラスチック (軟質)	96.65	4.2%	
		製品プラスチック (硬質)	32.23	1.4%	
		製品プラスチック (複合品)	7.56	0.3%	
		その他可燃物	415.57	18.2%	
不燃物	ゴム・皮革類	ゴム類	31.20	1.4%	
		皮革類	4.61	0.2%	
	その他可燃物	紙おむつ	3.92	0.2%	
		その他可燃物	415.57	18.2%	
	不燃物	金属	アルミ缶 (その他)	0.08	0.0%
			スチール缶 (その他)	0.00	0.0%
			缶類以外の金属類	12.10	0.5%
		乾電池	筒型乾電池	0.67	0.0%
			コイン型電池	0.04	0.0%
		ガラス製品	1.75	0.1%	
陶磁器		0.04	0.0%		
小型家電 (拠点回収対象外)		1.83	0.1%		
傘		0.00	0.0%		
蛍光管		0.23	0.0%		
電球	0.25	0.0%			
その他不燃物	0.56	0.0%			

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物	排出禁止物	二次電池	0.00	0.0%
		その他電池	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0.00	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.03	0.0%
		薬品類 (農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.05	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.02	0.0%
		土・砂	35.02	1.5%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	2.94	0.1%
		外袋	外袋	プラスチック袋
レジ袋	0.83			0.0%
紙袋	0.83			0.0%
合計			2,282.08	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合			
可燃系資源	紙類	457.43	20.0%			
	ペットボトル	11.39	0.5%			
不燃系資源	缶類	1.92	0.1%			
	びん類	2.04	0.1%			
可燃物	可燃物	生ごみ	576.17	25.2%		
		紙類	130.79	5.7%		
		布類	38.63	1.7%		
		木・草類	154.29	6.8%		
		容器包装プラスチック	229.20	10.0%		
		製品プラスチック	141.35	6.2%		
		ゴム・皮革類	35.81	1.6%		
		その他可燃物	419.49	18.4%		
		不燃物	不燃物	金属	12.18	0.5%
				乾電池	0.71	0.0%
ガラス製品	1.75			0.1%		
陶磁器	0.04			0.0%		
小型家電	1.83			0.1%		
傘	0.00			0.0%		
蛍光管	0.23			0.0%		
電球	0.25			0.0%		
その他不燃物	0.56	0.0%				
排出禁止物	排出禁止物	38.06	1.7%			
外袋	外袋	27.96	1.2%			

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	468.82	20.5%
不燃系資源	3.96	0.2%
可燃物	1,725.73	75.6%
不燃物	17.55	0.8%
排出禁止物	38.06	1.7%
外袋	27.96	1.2%

2 属性別調査結果

(1) 調査対象地区別

可燃ごみの調査対象地区別の組成を図 2.2-1 及び表 2.2-1 に示す。

調査対象地区別の可燃系資源の割合は、二子玉川・用賀が最も高く 23.0%、下北沢が 21.0%、三軒茶屋が 17.7% の順である。

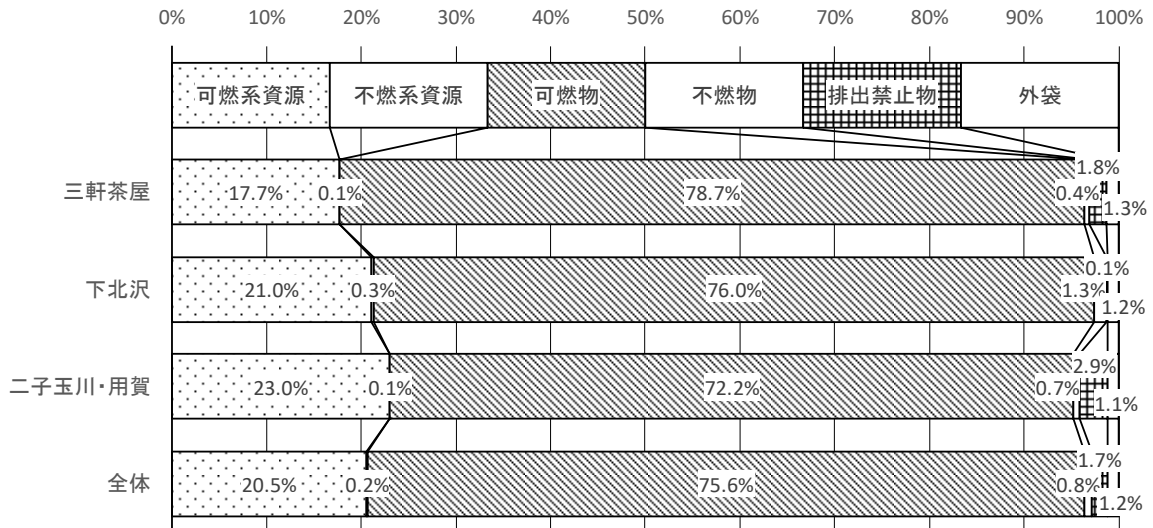


図 2.2-1 調査対象地区別の組成分析結果

表 2.2-1 調査対象地区別の組成分析結果(詳細)

		三軒茶屋		下北沢		二子玉川・用賀		全体	
		重量(kg)	割合	重量(kg)	割合	重量(kg)	割合	重量(kg)	割合
可燃系資源	紙類	136.34	17.3%	144.73	20.3%	176.36	22.7%	457.43	20.0%
	ペットボトル	3.32	0.4%	5.64	0.8%	2.43	0.3%	11.39	0.5%
不燃系資源	缶類	0.37	0.0%	1.23	0.2%	0.32	0.0%	1.92	0.1%
	びん類	0.32	0.0%	1.25	0.2%	0.47	0.1%	2.04	0.1%
可燃物	生ごみ	206.29	26.1%	187.75	26.3%	182.13	23.4%	576.17	25.2%
	紙類	38.96	4.9%	43.92	6.1%	47.91	6.2%	130.79	5.7%
	布類	12.91	1.6%	11.59	1.6%	14.13	1.8%	38.63	1.7%
	木・草類	78.47	9.9%	2.59	0.4%	73.23	9.4%	154.29	6.8%
	容器包装プラスチック	69.25	8.8%	93.24	13.1%	66.71	8.6%	229.20	10.0%
	製品プラスチック	46.15	5.8%	48.85	6.8%	46.35	6.0%	141.35	6.2%
	ゴム・皮革類	15.21	1.9%	10.50	1.5%	10.10	1.3%	35.81	1.6%
	その他可燃物	153.61	19.5%	144.72	20.3%	121.16	15.6%	419.49	18.4%
不燃物	金属	2.23	0.3%	5.82	0.8%	4.13	0.5%	12.18	0.5%
	乾電池	0.09	0.0%	0.50	0.1%	0.12	0.0%	0.71	0.0%
	ガラス製品	0.18	0.0%	1.18	0.2%	0.39	0.1%	1.75	0.1%
	陶磁器	0.00	0.0%	0.04	0.0%	0.00	0.0%	0.04	0.0%
	小型家電	0.69	0.1%	0.49	0.1%	0.65	0.1%	1.83	0.1%
	傘	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.00	0.0%
	蛍光管	0.04	0.0%	0.19	0.0%	0.00	0.0%	0.23	0.0%
	電球	0.00	0.0%	0.25	0.0%	0.00	0.0%	0.25	0.0%
その他不燃物	0.03	0.0%	0.48	0.1%	0.05	0.0%	0.56	0.0%	
排出禁止物		14.38	1.8%	0.89	0.1%	22.79	2.9%	38.06	1.7%
外袋		10.51	1.3%	8.51	1.2%	8.94	1.1%	27.96	1.2%
可燃系資源		139.66	17.7%	150.37	21.0%	178.79	23.0%	468.82	20.5%
不燃系資源		0.69	0.1%	2.48	0.3%	0.79	0.1%	3.96	0.2%
可燃物		620.85	78.7%	543.16	76.0%	561.72	72.2%	1,725.73	75.6%
不燃物		3.26	0.4%	8.95	1.3%	5.34	0.7%	17.55	0.8%
排出禁止物		14.38	1.8%	0.89	0.1%	22.79	2.9%	38.06	1.7%
外袋		10.51	1.3%	8.51	1.2%	8.94	1.1%	27.96	1.2%
全体		789.35	100.0%	714.36	100.0%	778.37	100.0%	2,282.08	100.0%

(2)業種別

可燃ごみの業種別の組成を図 2.2-2 及び表 2.2-2・3 に示す。

業種別の可燃系資源の割合は、教育業が最も高く 66.7%、次いで、事務所が 49.6%、その他が 30.8%、医療業が 26.5%などの順である。

生ごみは、食料品店が 55.0%、飲食店が 54.0%と他の業種に比べて多い。

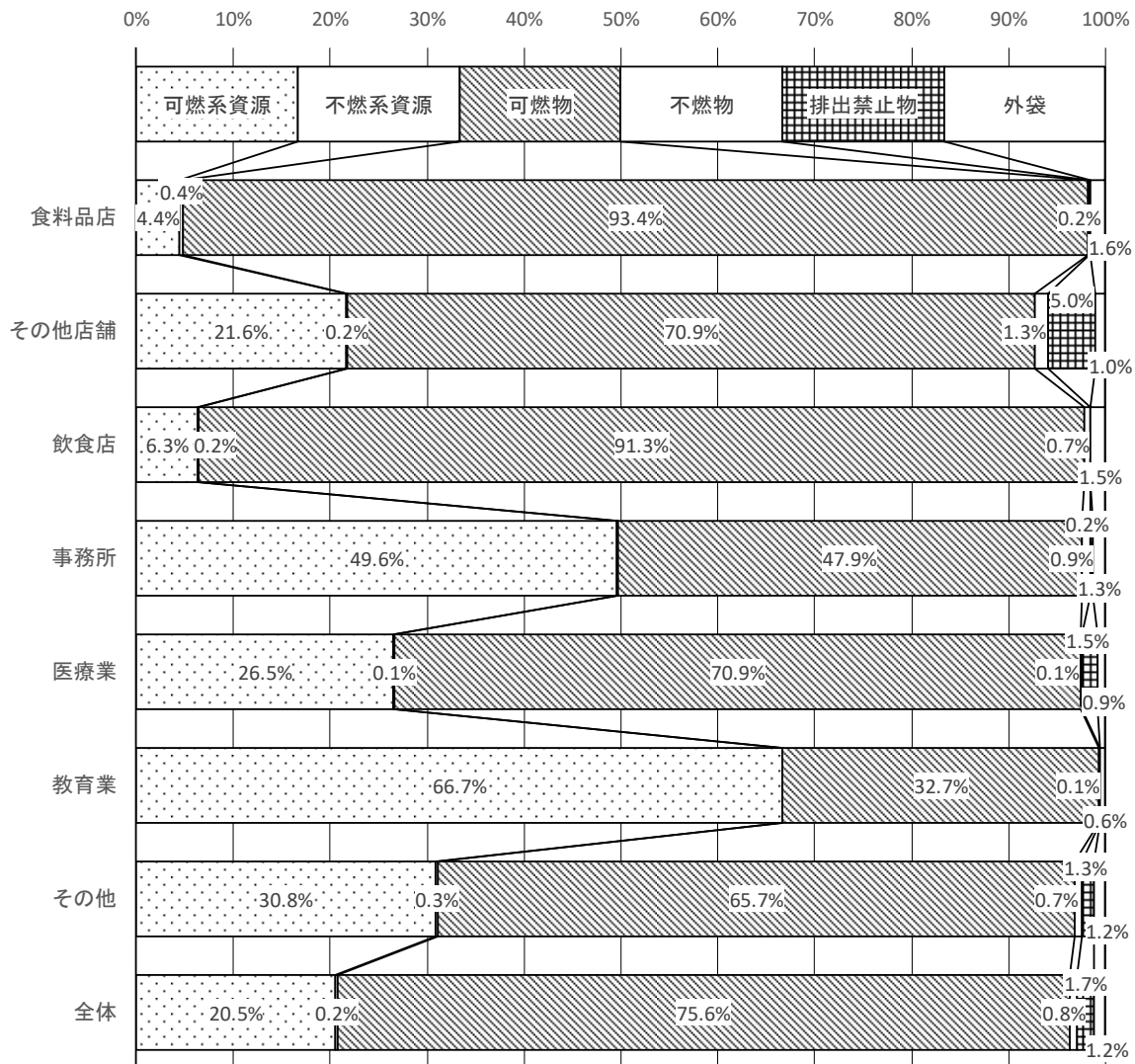


図 2.2-2 業種別の組成分析結果

表 2.2-2 業種別の組成分析結果(詳細・重量)

単位:kg

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	全体
可燃系 資源	紙類	4.93	131.77	47.84	91.74	67.98	53.87	59.30	457.43
	ペットボトル	0.10	3.39	3.44	0.59	1.25	0.07	2.55	11.39
不燃系 資源	缶類	0.03	0.95	0.33	0.02	0.03	0.00	0.56	1.92
	びん類	0.41	0.53	0.95	0.00	0.15	0.00	0.00	2.04
可燃物	生ごみ	62.55	42.45	439.23	6.65	4.39	0.63	20.27	576.17
	紙類	9.65	25.01	49.35	10.62	19.33	4.87	11.96	130.79
	布類	0.41	8.19	22.44	2.92	1.24	0.34	3.09	38.63
	木・草類	0.10	130.80	3.57	8.60	0.47	0.01	10.74	154.29
	容器包装プラスチック	10.71	60.71	73.47	23.41	32.35	2.49	26.06	229.20
	製品プラスチック	7.15	42.83	44.48	11.40	15.28	8.71	11.50	141.35
	ゴム・皮革類	0.11	4.38	4.16	0.28	25.62	0.66	0.60	35.81
	その他可燃物	15.48	129.74	106.57	25.24	86.22	8.69	47.55	419.49
不燃物	金属	0.07	6.12	3.76	1.27	0.18	0.06	0.72	12.18
	乾電池	0.05	0.15	0.04	0.05	0.00	0.00	0.42	0.71
	ガラス製品	0.00	0.24	1.49	0.00	0.00	0.00	0.02	1.75
	陶磁器	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.04
	小型家電	0.06	0.81	0.25	0.42	0.07	0.00	0.22	1.83
	傘	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	蛍光管	0.00	0.19	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23
	電球	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
その他不燃物	0.00	0.43	0.06	0.00	0.05	0.00	0.02	0.56	
排出禁止物	0.03	31.05	0.03	0.46	3.94	0.00	2.55	38.06	
外袋	1.82	6.24	12.44	2.37	2.25	0.45	2.39	27.96	
可燃系資源	5.03	135.16	51.28	92.33	69.23	53.94	61.85	468.82	
不燃系資源	0.44	1.48	1.28	0.02	0.18	0.00	0.56	3.96	
可燃物	106.16	444.11	743.27	89.12	184.90	26.40	131.77	1,725.73	
不燃物	0.18	8.19	5.64	1.74	0.32	0.06	1.42	17.55	
排出禁止物	0.03	31.05	0.03	0.46	3.94	0.00	2.55	38.06	
外袋	1.82	6.24	12.44	2.37	2.25	0.45	2.39	27.96	
全体	113.66	626.23	813.94	186.04	260.82	80.85	200.54	2,282.08	

表 2.2-3 業種別の組成分析結果(詳細・割合)

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	全体
可燃系 資源	紙類	4.3%	21.0%	5.9%	49.3%	26.1%	66.6%	29.6%	20.0%
	ペットボトル	0.1%	0.5%	0.4%	0.3%	0.5%	0.1%	1.3%	0.5%
不燃系 資源	缶類	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%
	びん類	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
可燃物	生ごみ	55.0%	6.8%	54.0%	3.6%	1.7%	0.8%	10.1%	25.2%
	紙類	8.5%	4.0%	6.1%	5.7%	7.4%	6.0%	6.0%	5.7%
	布類	0.4%	1.3%	2.8%	1.6%	0.5%	0.4%	1.5%	1.7%
	木・草類	0.1%	20.9%	0.4%	4.6%	0.2%	0.0%	5.4%	6.8%
	容器包装プラスチック	9.4%	9.7%	9.0%	12.6%	12.4%	3.1%	13.0%	10.0%
	製品プラスチック	6.3%	6.8%	5.5%	6.1%	5.9%	10.8%	5.7%	6.2%
	ゴム・皮革類	0.1%	0.7%	0.5%	0.2%	9.8%	0.8%	0.3%	1.6%
	その他可燃物	13.6%	20.7%	13.1%	13.6%	33.1%	10.7%	23.7%	18.4%
不燃物	金属	0.1%	1.0%	0.5%	0.7%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%
	乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
	ガラス製品	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	陶磁器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小型家電	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
	傘	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	電球	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
排出禁止物		0.0%	5.0%	0.0%	0.2%	1.5%	0.0%	1.3%	1.7%
外袋		1.6%	1.0%	1.5%	1.3%	0.9%	0.6%	1.2%	1.2%
可燃系資源		4.4%	21.6%	6.3%	49.6%	26.5%	66.7%	30.8%	20.5%
不燃系資源		0.4%	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.2%
可燃物		93.4%	70.9%	91.3%	47.9%	70.9%	32.7%	65.7%	75.6%
不燃物		0.2%	1.3%	0.7%	0.9%	0.1%	0.1%	0.7%	0.8%
排出禁止物		0.0%	5.0%	0.0%	0.2%	1.5%	0.0%	1.3%	1.7%
外袋		1.6%	1.0%	1.5%	1.3%	0.9%	0.6%	1.2%	1.2%

3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況

(1)貼付状況

事業系有料ごみ処理券の貼付状況を表 2.3-1 及び表 2.3-2 に示す。排出袋に見合った事業系有料ごみ処理券を貼付している適正貼付が 62.9%、不足した事業系有料ごみ処理券を貼付している不足貼付が 11.7%、事業系有料ごみ処理券を貼付していない※のが 25.3%である。

業種別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、食料品店が 43.5%で最も高く、次いで、飲食店が 36.4%、その他が 30.8%などの順である。

調査対象地区別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は三軒茶屋が 31.1%で最も高く、次いで、下北沢が 26.3%、二子玉川・用賀が 18.6%の順である。

※ 本調査は、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや、ごみの排出状況や内容から、明らかに事業系ごみと判断されるものを調査対象とした。

表 2.3-1 業種別の事業系有料ごみ処理券貼付状況

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
食料品店	排出袋数	9	4	10	23
	割合	39.1%	17.4%	43.5%	100.0%
その他店舗	排出袋数	94	26	37	157
	割合	59.9%	16.6%	23.6%	100.0%
飲食店	排出袋数	68	16	48	132
	割合	51.5%	12.1%	36.4%	100.0%
事務所	排出袋数	51	2	10	63
	割合	81.0%	3.2%	15.9%	100.0%
医療業	排出袋数	58	7	7	72
	割合	80.6%	9.7%	9.7%	100.0%
教育業	排出袋数	11	1		12
	割合	91.7%	8.3%	0.0%	100.0%
その他	排出袋数	47	7	24	78
	割合	60.3%	9.0%	30.8%	100.0%
全体	排出袋数	338	63	136	537
	割合	62.9%	11.7%	25.3%	100.0%

表 2.3-2 調査対象地区別の事業系有料ごみ処理券貼付状況

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
三軒茶屋	排出袋数	98	13	50	161
	割合	60.9%	8.1%	31.1%	100.0%
下北沢	排出袋数	119	35	55	209
	割合	56.9%	16.7%	26.3%	100.0%
二子玉川・用賀	排出袋数	121	15	31	167
	割合	72.5%	9.0%	18.6%	100.0%
全体	排出袋数	338	63	136	537
	割合	62.9%	11.7%	25.3%	100.0%

(2)容積貼付率

容積貼付率とは、事業系有料ごみ処理券の総容積を排出袋の総容積で除したものである。容積貼付率を表 2.3-3 及び表 2.3-4 に示す。全体の容積貼付率は 70.5% である。

業種別では、食料品店が 49.5% で最も低く、次いで、飲食店が 58.7%、その他が 66.7% などの順である。

調査対象地区別では、下北沢が 67.0% で最も低く、次いで、三軒茶屋が 67.7%、二子玉川・用賀が 77.9% の順である。

表 2.3-3 業種別の容積貼付率

単位：リットル

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
食料品店	排出袋容積	405	135	420	960
	処理券容積	405	70	0	475
	容積貼付率	100.0%	51.9%	0.0%	49.5%
その他店舗	排出袋容積	4,550	1,465	1,640	7,655
	処理券容積	4,550	810	0	5,360
	容積貼付率	100.0%	55.3%	0.0%	70.0%
飲食店	排出袋容積	3,065	815	2,090	5,970
	処理券容積	3,065	440	0	3,505
	容積貼付率	100.0%	54.0%	0.0%	58.7%
事務所	排出袋容積	2,495	140	450	3,085
	処理券容積	2,495	90	0	2,585
	容積貼付率	100.0%	64.3%	0.0%	83.8%
医療業	排出袋容積	2,660	455	315	3,430
	処理券容積	2,660	300	0	2,960
	容積貼付率	100.0%	65.9%	0.0%	86.3%
教育業	排出袋容積	470	70	—	540
	処理券容積	470	45	—	515
	容積貼付率	100.0%	64.3%	—	95.4%
その他	排出袋容積	2,130	440	1,080	3,650
	処理券容積	2,130	305	0	2,435
	容積貼付率	100.0%	69.3%	0.0%	66.7%
全体	排出袋容積	15,775	3,520	5,995	25,290
	処理券容積	15,775	2,060	0	17,835
	容積貼付率	100.0%	58.5%	0.0%	70.5%

表 2.3-4 調査対象地区別の容積貼付率

単位：リットル

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
三軒茶屋	排出袋容積	4,720	720	2,155	7,595
	処理券容積	4,720	420	0	5,140
	容積貼付率	100.0%	58.3%	0.0%	67.7%
下北沢	排出袋容積	5,590	1,950	2,405	9,945
	処理券容積	5,590	1,070	0	6,660
	容積貼付率	100.0%	54.9%	0.0%	67.0%
二子玉川・用賀	排出袋容積	5,465	850	1,435	7,750
	処理券容積	5,465	570	0	6,035
	容積貼付率	100.0%	67.1%	0.0%	77.9%
全体	排出袋容積	15,775	3,520	5,995	25,290
	処理券容積	15,775	2,060	0	17,835
	容積貼付率	100.0%	58.5%	0.0%	70.5%

(3)45 リットルあたりの重量

本調査で収集したごみの重量を排出袋の容積で除して、45 を乗じて算定した、排出袋 45 リットルあたりの業種別及び調査対象地区別の重量を、表 2.3-5 及び表 2.3-6 に示す。

業種別では、食料品店が 12.63kg で最も重く、次いで、飲食店が 11.95kg、教育業が 7.74kg などの順である。

調査対象地区別では、三軒茶屋が 7.53kg で最も重く、次いで、二子玉川・用賀が 6.41kg、下北沢が 5.75kg の順である。

表 2.3-5 業種別の 45 リットルあたりの重量

業種	排出袋容積 (ℓ)	重量 (kg)	45ℓあたり重量 (kg/45ℓ)
食料品店	405	113.66	12.63
その他店舗	4,550	626.23	6.19
飲食店	3,065	813.94	11.95
事務所	2,495	186.04	3.36
医療業	2,660	260.82	4.41
教育業	470	80.85	7.74
その他	2,130	200.54	4.24
全体	15,775	2,282.08	6.51

表 2.3-6 調査対象地区別の 45 リットルあたりの重量

調査対象地区	排出袋容積 (ℓ)	重量 (kg)	45ℓあたり重量 (kg/45ℓ)
三軒茶屋	4,720	789.35	7.53
下北沢	5,590	714.36	5.75
二子玉川・用賀	5,465	778.37	6.41
全体	15,775	2,282.08	6.51

4 その他調査結果

(1)食品ロス

可燃ごみ及び生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くず割合を表 2.4-1 に示す。直接廃棄が 1.5%、食べ残しが 2.4%で、3.9%が食品ロスである。

生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を図 2.4-1 に示す。直接廃棄が 6.0%、食べ残しが 9.3%で、15.3%が食品ロスである。

表 2.4-1 可燃ごみ及び生ごみに占める食品ロス等の割合

		可燃ごみに占める割合		生ごみに占める割合	
		重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
食品ロス	直接廃棄	34.75	1.5%	34.75	6.0%
	食べ残し	53.66	2.4%	53.66	9.3%
	小計	88.41	3.9%	88.41	15.3%
調理くず		487.76	21.4%	487.76	84.7%
生ごみ小計		576.17	25.2%	576.17	100.0%
生ごみ以外		1,705.91	74.8%		
合計		2,282.08	100.0%		

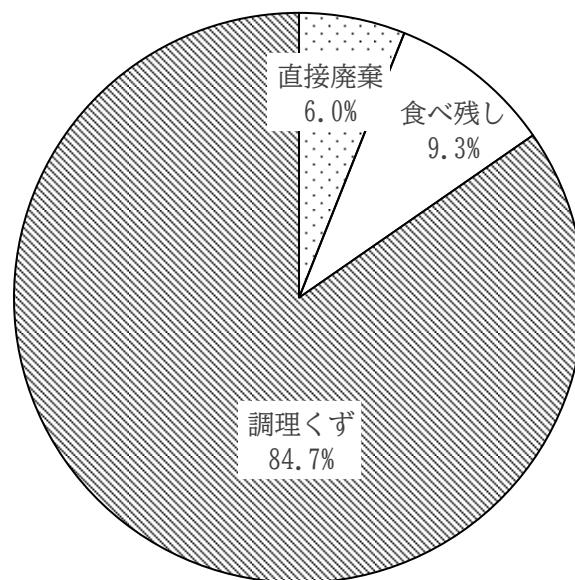


図 2.4-1 生ごみに占める食品ロス等の割合

(2)プラスチック

①レジ袋

レジ袋の内訳を表 2.4-2 に示す。5.5%がごみを排出するための外袋として使用されている。

表 2.4-2 レジ袋の重量と割合

	重量 (kg)	割合
可燃物	14.30	94.5%
外袋	0.83	5.5%
合計	15.13	100.0%

②可燃ごみに含まれる製品プラスチック(硬質・複合品)

可燃ごみに含まれている、製品プラスチック(硬質)及び製品プラスチック(複合品)のうち1個の重量が50g以上のものの素材表示の有無と材質を表 2.4-3 に示す。素材表示があるものは重量比で1.7%であり、このうち1.4%がポリプロピレン、0.3%がポリスチレンである。

表 2.4-3 製品プラスチック(硬質)の素材表示の有無と材質

		個数		重量	
		個数 (個)	割合	重量 (kg)	割合
表示あり	ポリプロピレン	5	6.1%	0.57	1.4%
	ポリスチレン	1	1.2%	0.12	0.3%
	小計	6	7.3%	0.69	1.7%
表示なし		76	92.7%	29.51	74.2%
50g未満		—	—	10.28	25.8%
合計		82	100.0%	39.79	100.0%

③可燃ごみに含まれる特定プラスチック使用製品

可燃ごみに含まれている、「プラスチック資源循環促進法」の特定プラスチック使用製品のうち、テイクアウト用のカトラリー、クリーニング店の衣類用ハンガー、衣類用カバーの重量と割合を表 2.4-4 に示す。カトラリーが2.56kg、ハンガーが2.24kg、衣類用カバーが0.11kgである。ただし、衣類用カバーについては、調査で衣類用カバーかどうかの判別が難しいものが多かったため、重量が過小に計上されている可能性がある。

表 2.4-4 特定プラスチック使用製品の重量と割合

	重量(kg)	割合
カトラリー	2.56	52.1%
ハンガー	2.24	45.6%
衣類用カバー	0.11	2.2%
合計	4.91	100.0%

(3) 排出禁止物等の個数

電池・蛍光管・電球・排出禁止物等の個数と重量を表 2.4-5 に示す。

今回調査の全サンプル中、中身の入った簡易ガスライターが 1 個 0.03kg、注射器・針が 4 個 0.05 kg、石が 1 個 0.02kg、土・砂が 6 個 35.02 kg である。

電池（不燃物）は全サンプル中に 40 個 0.71 kg あり、その内訳は、筒型乾電池が 36 個 0.67 kg、コイン型電池が 4 個 0.04 kg である。蛍光管は 4 本 0.23kg、電球は 10 個 0.25kg である。

表 2.4-5 排出禁止物等の個数と重量

品目	個数	重量(kg)
電池（不燃物）	40	0.71
筒型乾電池	36	0.67
コイン型電池	4	0.04
蛍光管	4	0.23
電球	10	0.25
排出禁止物	12	35.12
二次電池		
その他電池		
水銀体温計		
水銀血圧計		
中身の入ったエアゾール缶		
中身の入ったカセットボンベ		
中身の入った簡易ガスライター	1	0.03
薬品類（農薬・劇薬）		
注射器・針	4	0.05
石油類		
ペンキ等の塗料		
バッテリー		
石	1	0.02
土・砂※	6	35.02
ブロック・レンガ		
その他		

※土・砂の個数は、1つの排出袋から出たものを1個としてカウントした。

第3部 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量推計

1 排出原単位の推計

令和2年10月の国勢調査の結果を用い、世帯人数等別の人口割合を算定する。この人口割合で補正した世帯人数等別の排出原単位を加重平均して、排出原単位を推計する。

(1)世帯人数等別人口推計

令和2年10月の国勢調査による、世田谷区の世帯人数別の世帯数と人口を表1.1-1に示す。

表 1.1-1 世帯人数別の世帯数と人口

	世帯数（世帯）	人口（人）
1人世帯	250,635	250,635
2人世帯	112,925	225,850
3人世帯	69,606	208,818
4人世帯	48,158	192,632
5人世帯	8,864	44,320
6人世帯	1,261	7,566
7人以上世帯	268	1,950
合計	491,717	931,771

同じく国勢調査による、単身世帯の年齢別人口を表1.1-2に示す。

表 1.1-2 単身世帯の年齢別人口

	人口（人）	割合
30歳未満	64,980	26.1%
30歳以上	183,593	73.9%
合計	248,573	100.0%

※合計が表1.1-1の「1人」の世帯数と合致しないのは、「年齢不詳」の人口が含まれていないため。

表 1.1-1 の 4 人以上を足し上げ、1 人世帯を表 1.1-2 の割合で按分した、世帯人数等別の人口と割合を表 1.1-3 に示す。

表 1.1-3 世帯人数等別の人口と割合

	人口 (人)	割合
1 人世帯・30 歳未満	65,416	7.0%
1 人世帯・30 歳以上	185,219	19.9%
2 人世帯	225,850	24.2%
3 人世帯	208,818	22.4%
4 人以上世帯	246,468	26.5%
合計	931,771	100.0%

(2) 排出原単位の推計

世帯人数等別の可燃ごみの排出原単位(p.27 参照)に、世帯人数等別の人口割合を乗じて推計した可燃ごみの排出原単位を表 1.1-4 に示す。家庭から排出される可燃ごみの排出原単位は 363.1 g/人日である。

表 1.1-4 排出原単位の推計

	可燃ごみ 排出原単位 (g/人日)	人口割合
1 人世帯・30 歳未満	228.7	7.0%
1 人世帯・30 歳以上	392.9	19.9%
2 人世帯	403.2	24.2%
3 人世帯	381.2	22.4%
4 人以上世帯	324.3	26.5%
世田谷区の排出原単位	363.1	100.0%

2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計

(1)世田谷区の区収集ごみ量

令和3年度の世田谷区の区収集ごみ量を表1.2-1に示す。

表 1.2-1 世田谷区の区収集ごみ量

単位：t/年	
	区収集ごみ量
可燃ごみ	163,688
不燃ごみ	6,694

(2)不燃ごみ

令和3年度に行った組成分析調査及び計量調査において、事業系不燃ごみは3地域で20事業所のサンプルしか得られず、事業系不燃ごみはごく少量しか排出されていないと推測されたため、区で収集した不燃ごみ6,694t/年は、すべて家庭ごみと見なす。

(3)家庭可燃ごみ量の推計(補正前)

家庭可燃ごみ量は、表1.1-4の排出原単位に令和3年10月1日現在の人口と年間日数(365日)を乗じて推計する。家庭可燃ごみ量は121,655t/年と推計される。

表 1.2-2 排出原単位から推計した家庭可燃ごみ量(補正前)

	排出原単位 (g/人日)	人口 (人)	家庭 可燃ごみ量 (補正前) (t/年)
可燃ごみ	363.1	917,932	121,655

(注)人口は令和3年10月1日現在。

(4)事業系可燃ごみ量の推計(補正前)

券種の容積に、令和3年度の事業系有料ごみ処理券の売上枚数を乗じて、年間売上容積を算定し、45リットル袋に換算した枚数は647,102枚である。事業系ごみ組成分析調査から、45リットル袋あたりの重量は6.51kg/枚、事業系有料ごみ処理券の貼付率は70.5%であるため、事業系可燃ごみ量は5,975t/年と推計される。

表 1.2-3 事業系有料ごみ処理券の売上枚数等から推計した
事業系可燃ごみ量(補正前)

券種	枚数 (枚/年)	容積 (ℓ)	45ℓ袋 換算 (枚)	45ℓ袋 の重量 (kg/枚)	貼付率	事業系可燃ごみ量 (補正前) (t/年)
A	B	C=A*B	D=C/45	E	F	G=D*E/F/1,000
70ℓ	40,050	2,803,500	/	/	/	/
45ℓ	529,743	23,838,435				
20ℓ	85,442	1,708,840				
10ℓ	76,883	768,830				
合計	732,118	29,119,605	647,102	6.51	70.5%	5,975

(5)実績値による補正

推計した家庭可燃ごみ量(補正前)は121,655t/年、事業系可燃ごみ量(補正前)は5,975t/年、合計で127,630t/年である。一方、令和3年度の区収集可燃ごみ量は163,688tで、推計値は実績値の78.0%である。そのため、補正前の推計値を78.0%で除して推計した補正後のごみ量は、家庭可燃ごみ量が156,025t/年、事業系可燃ごみ量が7,663t/年である。

なお、昨年度までは、家庭ごみの排出原単位と人口等から家庭ごみ量を推計し、区収集ごみから家庭ごみを差し引いて事業系ごみ量としていた。本年度調査では、実態に合わせるため、家庭ごみと事業系ごみの量をそれぞれ推計し、その合計量を区収集ごみ量に合わせて補正したため、家庭ごみと事業系ごみの割合が大きく変化している。

表 1.2-4 実績値により補正した家庭・事業系別の区収集可燃ごみ量

	推計値 (補正前)	令和3年度 区収集ごみ量	実績値に対す る推計値の割 合	推計値 (補正後)
数式	A	B	C=A/B	D=A/C
家庭ごみ量	121,655	/	/	156,025
事業系ごみ量	5,975			7,663
合計	127,630	163,688	78.0%	163,688

3 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量の推計

(1)家庭可燃ごみ

表 1.3-1 家庭可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合	
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	466	0.3%	
		折込広告	265	0.2%	
		雑誌・本	3,501	2.2%	
		段ボール	1,260	0.8%	
		紙バック	1,202	0.8%	
		包装紙	298	0.2%	
		紙袋	1,297	0.8%	
		箱類	4,822	3.1%	
		OA用紙	1,073	0.7%	
		その他紙類(リサイクル可)	8,006	5.1%	
	布類		9,824	6.3%	
	ペットボトル		617	0.4%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ		209	0.1%
		白色発泡トレイ		203	0.1%
色・柄付き発泡トレイ			275	0.2%	
	食品用透明プラスチック容器		329	0.2%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	17	0.0%	
		スチール缶(飲食用)	31	0.0%	
		リターナブルびん	0	0.0%	
	びん類	ワンウェイびん(無色)	69	0.0%	
		ワンウェイびん(茶色)	41	0.0%	
		ワンウェイびん(その他)	0	0.0%	
		小型家電(拠点回収対象)	65	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	8,304	5.3%	
		食べ残し	5,134	3.3%	
		調理くず	31,022	19.9%	
	紙類	新聞(汚れたもの)	1,286	0.8%	
		紙バック(アルミ付)	618	0.4%	
		容器包装の紙類(リサイクル不可)	1,857	1.2%	
		シュレッド紙	213	0.1%	
		その他紙類(リサイクル不可)	1,665	1.1%	
	木・草類		5,848	3.7%	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	2,415	1.5%	
		洗剤等詰めの替え容器	444	0.3%	
		レジ袋	1,311	0.8%	
		発泡スチロール	58	0.0%	
		カップ・パック	7,120	4.6%	
		フィルム	7,303	4.7%	
		アルミ蒸着	1,999	1.3%	
		チューブ	318	0.2%	
		その他の容器包装プラスチック	926	0.6%	
		製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	258	0.2%
	製品プラスチック(軟質)		4,185	2.7%	
	製品プラスチック(硬質)		2,169	1.4%	
	製品プラスチック(複合品)		943	0.6%	
	ゴム・皮革類		866	0.6%	
		ゴム類		866	0.6%
		皮革類		828	0.5%
	その他可燃物	紙おむつ	6,385	4.1%	
		その他可燃物	24,671	15.8%	
	不燃物	金属	アルミ缶(その他)	8	0.0%
			スチール缶(その他)	3	0.0%
			缶類以外の金属類	355	0.2%
乾電池		筒型乾電池	39	0.0%	
		コイン型電池	0	0.0%	
ガラス製品			288	0.2%	
陶磁器			180	0.1%	
小型家電(拠点回収対象外)			139	0.1%	
		傘	0	0.0%	
		蛍光管	0	0.0%	
		電球	4	0.0%	
		その他不燃物	220	0.1%	

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		二次電池	5	0.0%
		その他電池	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0	0.0%
		薬品類(農薬・劇薬)	0	0.0%
		注射器・針	10	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	52	0.0%
		土・砂	862	0.6%
外袋	ブロック・レンガ	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	
	プラスチック袋	1,011	0.6%	
	レジ袋	769	0.5%	
	紙袋	63	0.0%	
	合計		156,025	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合	
可燃系資源	紙類	22,191	14.2%	
	布類	9,824	6.3%	
	ペットボトル	617	0.4%	
	プラスチック	1,016	0.7%	
不燃系資源	缶類	49	0.0%	
	びん類	110	0.1%	
	小型家電	65	0.0%	
可燃物	生ごみ	44,460	28.5%	
	紙類	5,639	3.6%	
	木・草類	5,848	3.7%	
	容器包装プラスチック	21,893	14.0%	
	製品プラスチック	7,555	4.8%	
	ゴム・皮革類	1,694	1.1%	
	その他可燃物	31,056	19.9%	
	不燃物	金属	366	0.2%
		乾電池	39	0.0%
		ガラス製品	288	0.2%
陶磁器		180	0.1%	
小型家電		139	0.1%	
傘		0	0.0%	
蛍光管		0	0.0%	
電球	4	0.0%		
その他不燃物	220	0.1%		
排出禁止物		929	0.6%	
外袋		1,843	1.2%	

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	33,649	21.6%
不燃系資源	223	0.1%
可燃物	118,145	75.7%
不燃物	1,237	0.8%
排出禁止物	929	0.6%
外袋	1,843	1.2%

(2)事業系可燃ごみ

表 1.3-2 事業系可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	10	0.1%
		折込広告	5	0.1%
		雑誌・本	202	2.6%
		段ボール	71	0.9%
		紙パック	29	0.4%
		包装紙	47	0.6%
		紙袋	40	0.5%
		箱類	308	4.0%
		OA用紙	157	2.1%
		シュレッド紙	254	3.3%
		その他紙類(リサイクル可)	412	5.4%
	ペットボトル	38	0.5%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	4	0.1%
		スチール缶(飲食用)	2	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	3	0.0%
		ワンウェイびん(茶色)	3	0.0%
	ワンウェイびん(その他)	0	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	117	1.5%
		食べ残し	180	2.4%
		調理くず	1,638	21.4%
	紙類	新聞(汚れたもの)	94	1.2%
		紙パック(アルミ付)	28	0.4%
		容器包装の紙類(リサイクル不可)	93	1.2%
		その他紙類(リサイクル不可)	224	2.9%
	布類	130	1.7%	
	木・草類	518	6.8%	
	容器包	ペットボトルキャップ	9	0.1%
		白色発泡トレイ	4	0.1%
		色・柄付き発泡トレイ	6	0.1%
		食品用透明プラスチック容器	3	0.0%
		ペットボトル以外のボトル	93	1.2%
		洗剤等詰め替え容器	10	0.1%
レジ袋		48	0.6%	
発泡スチロール		16	0.2%	
カップ・パック		192	2.5%	
フィルム		301	3.9%	
アルミ蒸着		41	0.5%	
チューブ		6	0.1%	
その他の容器包装プラスチック		39	0.5%	
製品プ		特定プラスチック使用製品	16	0.2%
	製品プラスチック(軟質)	325	4.2%	
	製品プラスチック(硬質)	108	1.4%	
	製品プラスチック(複合品)	25	0.3%	
ゴム・皮革類	105	1.4%		
皮革類	15	0.2%		
その他可燃物	紙おむつ	13	0.2%	
	その他可燃物	1,395	18.2%	
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	0	0.0%
		スチール缶(その他)	0	0.0%
		缶類以外の金属類	41	0.5%
	乾電池	筒型乾電池	2	0.0%
		コイン型電池	0	0.0%
	ガラス製品	6	0.1%	
	陶磁器	0	0.0%	
	小型家電(拠点回収対象外)	6	0.1%	
	傘	0	0.0%	
	蛍光管	1	0.0%	
	電球	1	0.0%	
	その他不燃物	2	0.0%	

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合
排出禁止物		二次電池	0	0.0%
		その他電池	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0	0.0%
		薬品類(農薬・劇薬)	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	0	0.0%
		土・砂	118	1.5%
		ブロック・レンガ	0	0.0%
その他	10	0.1%		
外袋		プラスチック袋	88	1.2%
		レジ袋	3	0.0%
		紙袋	3	0.0%
	合計	7,663	100.0%	

大分類	中分類	ごみ量	割合	
可燃系資源	紙類	1,536	20.0%	
	ペットボトル	38	0.5%	
不燃系資源	缶類	6	0.1%	
	びん類	7	0.1%	
可燃物	生ごみ	1,935	25.2%	
	紙類	439	5.7%	
	布類	130	1.7%	
	木・草類	518	6.8%	
	容器包装プラスチック	770	10.0%	
	製品プラスチック	475	6.2%	
	ゴム・皮革類	120	1.6%	
	その他可燃物	1,409	18.4%	
	不燃物	金属	41	0.5%
		乾電池	2	0.0%
ガラス製品		6	0.1%	
陶磁器		0	0.0%	
小型家電		6	0.1%	
傘		0	0.0%	
蛍光管		1	0.0%	
電球	1	0.0%		
その他不燃物	2	0.0%		
排出禁止物		128	1.7%	
外袋		94	1.2%	

大分類	ごみ量	割合
可燃系資源	1,574	20.5%
不燃系資源	13	0.2%
可燃物	5,795	75.6%
不燃物	59	0.8%
排出禁止物	128	1.7%
外袋	94	1.2%

(3)不燃ごみ

表 1.3-3 不燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	1	0.0%
		折込広告	0	0.0%
		雑誌・本	0	0.0%
		段ボール	9	0.1%
		紙パック	0	0.0%
		包装紙	1	0.0%
		紙袋	4	0.1%
		箱類	5	0.1%
		OA用紙	0	0.0%
		その他紙類(リサイクル可)	2	0.0%
	布類	0	0.0%	
	ペットボトル	0	0.0%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ	0	0.0%
		白色発泡トレイ	0	0.0%
プラスチック	色・柄付き発泡トレイ	0	0.0%	
	食品用透明プラスチック容器	0	0.0%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	4	0.1%
		スチール缶(飲食用)	81	1.2%
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	118	1.8%
		ワンウェイびん(茶色)	21	0.3%
		ワンウェイびん(その他)	26	0.4%
小型家電(拠点回収対象)	120	1.8%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	1	0.0%
		食べ残し	0	0.0%
		調理くず	5	0.1%
	紙類	新聞(汚れたもの)	11	0.2%
		紙パック(アルミ付)	0	0.0%
		容器包装の紙類(リサイクル不可)	0	0.0%
		シュレッド紙	0	0.0%
		その他紙類(リサイクル不可)	3	0.0%
	木・草類		5	0.1%
		ペットボトル以外のボトル	27	0.4%
	容器包装プラスチック	洗剤等詰め替え容器	1	0.0%
		レジ袋	7	0.1%
		発泡スチロール	0	0.0%
		カップ・パック	0	0.0%
		フィルム	2	0.0%
		アルミ蒸着	11	0.2%
		チューブ	1	0.0%
		その他の容器包装プラスチック	26	0.4%
	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	1	0.0%
		製品プラスチック(軟質)	16	0.2%
		製品プラスチック(硬質)	123	1.8%
		製品プラスチック(複合品)	221	3.3%
	ゴム・皮革類	ゴム類	9	0.1%
皮革類		28	0.4%	
その他可燃物	紙おむつ	0	0.0%	
	その他可燃物	62	0.9%	
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	57	0.9%
		スチール缶(その他)	207	3.1%
		缶類以外の金属類	1,732	25.9%
	乾電池	筒型乾電池	250	3.7%
		コイン型電池	1	0.0%
	ガラス製品	787	11.8%	
	陶磁器	1,200	17.9%	
	小型家電(拠点回収対象外)	879	13.1%	
	傘	297	4.4%	
	蛍光管	71	1.1%	
	電球	17	0.3%	
その他不燃物	147	2.2%		

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		二次電池	1	0.0%
		その他電池	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	21	0.3%
		中身の入ったカセットボンベ	0	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	3	0.1%
		薬品類(農薬・劇薬)	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	24	0.4%
		土・砂	0	0.0%
外袋		ブロック・レンガ	0	0.0%
		その他	0	0.0%
		プラスチック袋	12	0.2%
		レジ袋	29	0.4%
		紙袋	5	0.1%
合計			6,694	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合	
可燃系資源		紙類	22	0.3%
		布類	0	0.0%
		ペットボトル	0	0.0%
		プラスチック	0	0.0%
不燃系資源		缶類	84	1.3%
		びん類	166	2.5%
		小型家電	120	1.8%
可燃物		生ごみ	6	0.1%
		紙類	14	0.2%
		木・草類	5	0.1%
		容器包装プラスチック	77	1.1%
		製品プラスチック	361	5.4%
		ゴム・皮革類	37	0.6%
		その他可燃物	62	0.9%
不燃物		金属	1,996	29.8%
		乾電池	251	3.7%
		ガラス製品	787	11.8%
		陶磁器	1,200	17.9%
		小型家電	879	13.1%
		傘	297	4.4%
		蛍光管	71	1.1%
		電球	17	0.3%
その他不燃物	147	2.2%		
排出禁止物		49	0.7%	
外袋		46	0.7%	

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	22	0.3%
不燃系資源	369	5.5%
可燃物	562	8.4%
不燃物	5,645	84.3%
排出禁止物	49	0.7%
外袋	46	0.7%

(4)家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量

家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量を表 1.3-4 に示す。

区収集ごみには、可燃系資源が 35,245t、不燃系資源が 606t、排出禁止物が 1,106t 含まれていると推計される。

表 1.3-4 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量の推計

単位：t/年

		可燃ごみ			不燃ごみ	合計
		家庭	事業系	合計		
可燃系資源	紙類	22,191	1,536	23,727	22	23,749
	布類	9,824		9,824	0	9,824
	ペットボトル	617	38	655	0	655
	プラスチック	1,016		1,016	0	1,016
不燃系資源	缶類	49	6	55	84	139
	びん類	110	7	116	166	282
	小型家電	65		65	120	185
可燃物	生ごみ	44,460	1,935	46,395	6	46,401
	紙類	5,639	439	6,079	14	6,092
	布類		130	130		130
	木・草類	5,848	518	6,366	5	6,370
	容器包装プラスチック	21,893	770	22,662	77	22,739
	製品プラスチック	7,555	475	8,030	361	8,391
	ゴム・皮革類	1,694	120	1,815	37	1,852
	その他可燃物	31,056	1,409	32,464	62	32,527
不燃物	金属	366	41	407	1,996	2,404
	乾電池	39	2	41	251	292
	ガラス製品	288	6	294	787	1,082
	陶磁器	180	0	180	1,200	1,380
	小型家電	139	6	145	879	1,024
	傘	0	0	0	297	297
	蛍光管	0	1	1	71	72
	電球	4	1	5	17	22
	その他不燃物	220	2	222	147	369
排出禁止物	929	128	1,057	49	1,106	
外袋	1,843	94	1,936	46	1,982	
可燃系資源	33,649	1,574	35,223	22	35,245	
不燃系資源	223	13	237	369	606	
可燃物	118,145	5,795	123,940	562	124,502	
不燃物	1,237	59	1,295	5,645	6,940	
排出禁止物	929	128	1,057	49	1,106	
外袋	1,843	94	1,936	46	1,982	
合計	156,025	7,663	163,688	6,694	170,382	

世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査報告書
(令和4年度版)

令和4年8月発行（広報印刷物登録番号：No.2101）

世田谷区清掃・リサイクル部事業課

〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5 梅丘分庁舎 2階

電話：03-6304-3297

FAX：03-6304-3341

世田谷区ホームページ

<https://www.city.setagaya.lg.jp>

ごみ・リサイクルの情報は

[目次から探す](#) → [くらし・手続き](#) → [ごみ・リサイクル](#)

調査委託先

株式会社杉山・栗原環境事務所

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15-942

電話：03-6704-5039

※ 再生紙を使用しています。